iiyama

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite LH4364UHS
ProLite LH5564UHS
ProLite LH6564UHS
ProLite LH7564UHS
ProLite LE9864UHS

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

□ マーク：二重断熱材または強化断熱材によって全体的に保護された機器。

日本語

■ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。
■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- ●キャビネットが異常に熱い。
- ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- ●使用中に異常な音や振動などがある。
- ●その他の異常や故障がある。

⇒

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために.....1
液晶モニタに関する特記事項.....4
ご使用の前に.....6
特長.....6
標準付属品.....7
開梱.....7
各部のなまえ.....8
モニタの取り付け.....11
リモコンの機能.....17
リモコンの準備.....18
ID リモコン.....19
基本操作.....20
コンピュータとの接続：ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS / ProLite LH6564UHS / ProLite LH7564UHS.....22
コンピュータとの接続：ProLite LE9864UHS.....23
コンピュータの設定.....25
操作手順.....26
調整メニューの内容.....27
スタンバイ機能.....55
故障かなと思ったら.....56
クリーニング.....57
アフターサービス.....58
保証書／保証期間について.....58
修理サービス.....58
リサイクル／廃棄について.....58
付録.....59
一般仕様：ProLite LH4364UHS-B1AG.....59
一般仕様：ProLite LH5564UHS-B1AG.....60
一般仕様：ProLite LH6564UHS-B1AG.....61
一般仕様 : ProLite LH7564UHS-B1AG.....62
一般仕様 : ProLite LE9864UHS-B1AG.....63
外形寸法図：ProLite LH4364UHS.....64
外形寸法図：ProLite LH5564UHS.....64
外形寸法図：ProLite LH6564UHS.....65
外形寸法図：ProLite LH7564UHS.....65
外形寸法図：ProLite LE9864UHS.....66
外形寸法図：壁掛けキット.....67
対応信号タイミング.....69

本書に記載の注意事項に反するお取扱いによって生じた故障や損害は、保証期間内であってもサポート及び保証の対象外となります。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠ 警告

プラグを抜く

万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。

禁止

プラグを抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

禁止

プラグを抜く

花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

⚠警告

禁止

プラグを抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。
万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセンターに交換をご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

× 湿気やほこりの多い場所
× 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
× 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
× 熱器具の近く

日本語

⚠注意

禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

× あお向けや横倒し、逆さまにする。
× 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
× じゅうたんや布団の上に置く。
× テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から 10cm 以上離して置いてください。

指示に従う

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

指示に従う

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

指示に従う

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

指示に従う

モニタにアルコールや消毒薬を使用しない

モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

液晶モニタに関する特記事項

以下の症状は液晶モニタの正常な動作であり、故障ではありません。

補足

- 液晶モニタを初めて電源オンにしたとき、お使いのコンピューターの種類によっては、画像が表示領域に収まらない場合があります。その場合は、画像の位置を正しい位置に調整してください。
- お使いのデスクトップパターンによっては、画面の明るさに若干のムラが見られる場合があります。
- 液晶画面の特性上、同じ画像を何時間も表示していると、画像を切り替えた後に前の画面の残像が残ることがあります。その場合は、画像を切り替えるか、電源スイッチを数時間オフにすると、画面は徐々に回復します。

■ この液晶モニタは屋外では使用できません。
■ この液晶モニタは、画面を上向きにして使用することはできません。
■ 付属のケーブルよりも長いケーブルを使用した場合、画質は保証されません。

モニタの使用について

本製品は、清潔で温度管理された環境で、1 日 24 時間まで最適使用できるように設計されています。
本製品は、横置き / 縦置きで使用するアプリケーションに対応しています。
*ProLite LE9864UHS は横置きのみです。

画像の残像 / 画像の焼き付き

すべての LCD 画面で画像の残像または画像の焼き付きが発生する可能性があることにご注意ください。これは、静止画像が長時間表示されているときに、画像が画面に残っている場合に発生します。LCD 画面の残像は永続的ではありませんが、長期間表示される一定の画像は避けてください。画像の残像に対処するには、前の画像が表示されている間はモニタの電源を切ってください。例えば、画面上に画像を 1 時間表示し、残像または「ゴースト」画像がある場合、残像または「ゴースト」画像を消去するにはモニタを 1 時間オフにしてください。
大型モニタ製品について、長時間表示をする場合は動画を使用することをお勧めします。そして、画面がパワーセーブ状態のときは常に一定の間隔で動くスクリーンセーバーを利用してください。また、使用していないときはモニタの電源をオフにしてください。
画像の残像のリスクを低減する他の方法は、ファン機能（利用可能な場合）を利用、低バックライトと低輝度に設定などがあります。

パブリックディスプレイとして使用するために

■ LCD パネル上の画像焼き付き

静止画像が数時間表示されると、LCD 内部の電極の近くに電荷トレースが残って「ゴースト」画像が生成されます。（画像の残像）

画像の残像は永続的なものではありませんが、長期間静止画を表示し続けると LCD パネル上に画像の焼き付きが発生します。

■推奨事項

画像の焼き付きを防止し、モニタの寿命を長くするために、次のことをお勧めします。

1. 長期間表示される静止画像を避ける - ループ機能などを使って静止画像を変更してください。
2. 使用しないときは、リモコンまたは電源管理機能またはスケジュール機能を使用してモニタをオフにしてください。
3. モニタのメニュー設定で「ピクセルシフト」などを確認し、利用可能な場合は有効にしてください。これにより、画像の焼き付きを軽減できます。
4. 周囲温度が高い環境や密閉された場所に設置する場合は、冷却ファン、スクリーンセーバー、低輝度機能を使用してください。
5. モニタを設置する場合、換気が適切に行われることが必要です。温度調節システムなどを使用することをお勧めします。
6. 動作時間が長い場合や周囲温度が高い場合は、ファンを使用したアクティブ冷却の使用を強くお勧めします。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。
また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 最大 3840 × 2160 モードをサポート
- ◆ 高コントラスト 4000:1(標準), 輝度 500cd/ ㎡ (標準) : ProLite LH4364UHS
- ◆ 高コントラスト 5000:1(標準), 輝度 500cd/ ㎡ (標準) : ProLite LH5564UHS / ProLite LH6564UHS / ProLite LH7564UHS / ProLite LE9864UHS
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 10W ＋ 10W 出力のステレオスピーカー内蔵
- ◆ 省電力設計
  スタンバイ機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (300mm × 300mm) 対応 : ProLite LH4364UHS
- ◆ VESA マウント規格 (400mm × 400mm) 対応 : ProLite LH5564UHS
- ◆ VESA マウント規格 (500mm × 500mm) 対応 : ProLite LH6564UHS / ProLite LH7564UHS
- ◆ VESA マウント規格 (700mm × 500mm) 対応 : ProLite LE9864UHS(ブラケット装着)
- ◆ VESA マウント規格 (800mm × 500mm) 対応 : ProLite LE9864UHS(ブラケット未装着)

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

■ 電源コード (AC100V 用)*1　■ HDMI ケーブル　■ RS-232C ケーブル
■ リモコン *2　■ 壁掛けキット *3
■ セーフティ＆クイックスタートガイド / 保証書（本紙）

補足 *1 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。
また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。
■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合
■ 日本以外の国でお使いになる場合
サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

*2 **電池は付属していませんので、市販品をご使用ください。**

*3 壁掛けキットには下記の内容が含まれます。

モデル名	ブラケット	壁掛けプレート	ネジ M6 × 18	ネジ M8 × 16	ネジ ST7 × 55	アンカー	ワッシャー
LH4364UHS LH5564UHS	2	1	4	-	4	4	-
LH6564UHS LH7564UHS	2	1	-	4	6	6	-
LE9864UHS	2	1	-	6	8	8	12

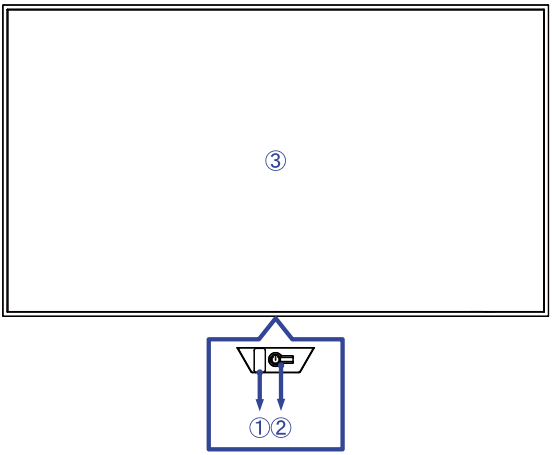
開梱

⚠ 注意

本製品を開梱 / 移動させる時は、２人以上でおこなってください。１人でおこなうと、本製品を落としてケガをする可能性があります。

各部のなまえ

前面



①	パワー インジケータ	オフ	通常運転
		赤	点灯：スタンバイモードフラッシュ：3 秒間隔：信号スタンバイモード 5 秒間隔：ネットワークスタンバイモード 7 秒間隔：SCHEDULE 有効時。
②	Power Button ⏻	短押しでスタンバイ / オンを切り替えます。 3 秒間長押しすると、モニタの電源が入っているときに入力ソースメニューが開きます。	
③	リモートセンサー		

日本語

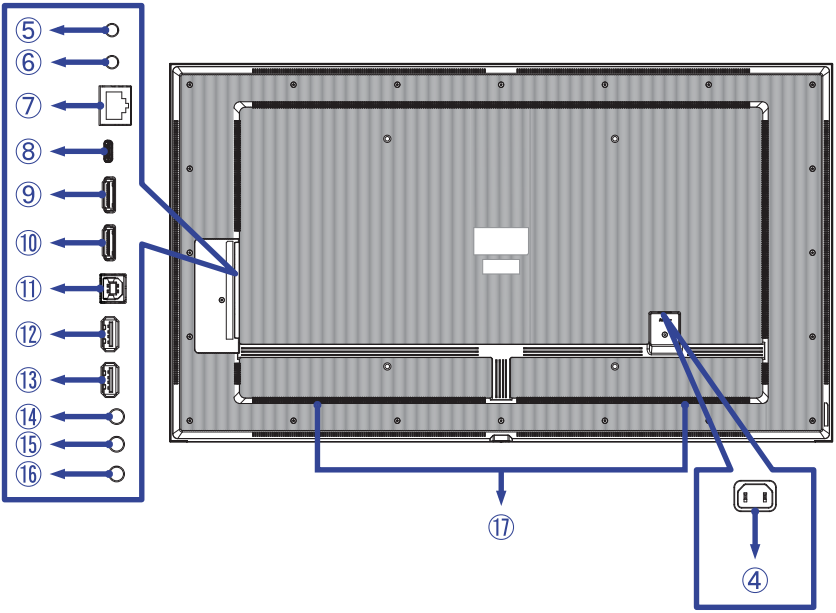
LED カラー	ステータス	説明
赤	高速点滅（3 秒点灯、3 秒消灯）	モニタは信号スタンバイモードで、電力を節約しながら入力信号を待っています。
赤	ゆっくり点滅（5 秒点灯、5 秒消灯）	モニタはネットワーク・スタンバイ・モードになっており、電力を節約しながら、迅速なレスポンスのために接続を維持します。
消灯		モニタが起動する。
赤	ゆっくり点滅（7 秒点灯、7 秒消灯）	赤ランプの点滅は、予定されたオペレーションが開始されたことを示します。
赤	ソリッド	モニタはスタンバイモードで、アクティブになるまで最小限の電力しか使用しません。

補足

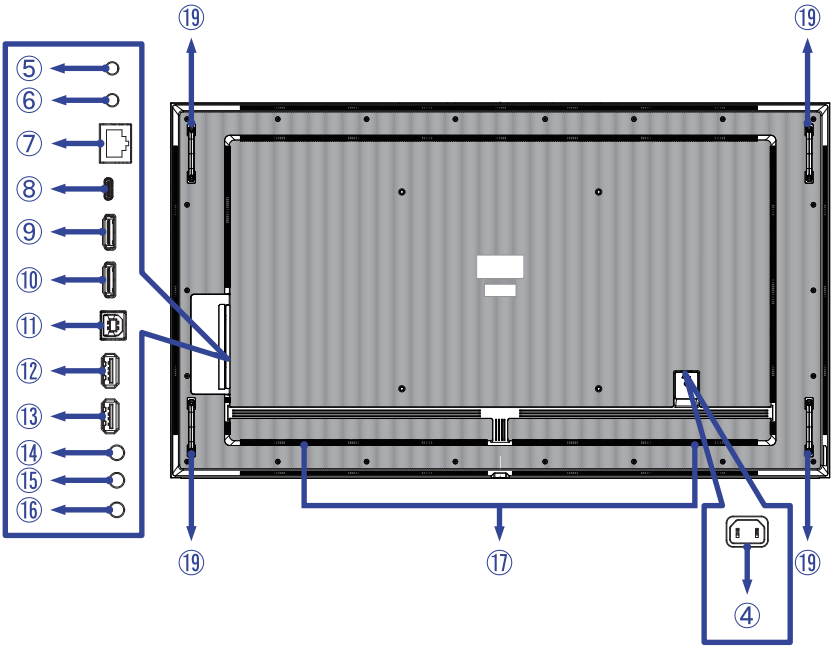
スタンバイモードが重複する場合、ライトの色は優先順位を反映します：
シグナルスタンバイモード ⟶ ネットワークスタンバイモード ⟶ スタンバイモード

後面

■ ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS / ProLite LH6564UHS



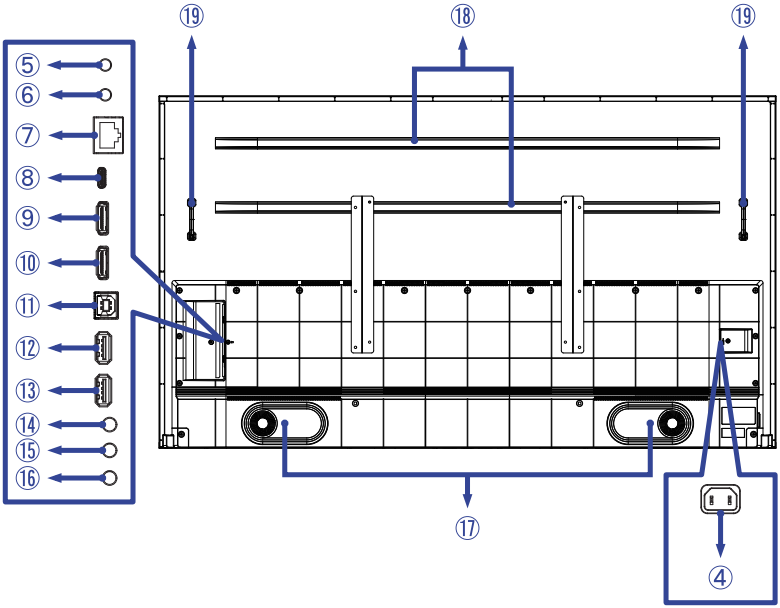
■ ProLite LH7564UHS



日本語

■ **ProLite LE9864UHS**

後面



④	AC IN	AC-INLET	～ : 交流 (～) (AC-IN)
⑤	RS232C IN	ø 2.5mm サブミニジャック	RS232C コネクタ
⑥	RS232C OUT	ø 2.5mm サブミニジャック	RS232C コネクタ
⑦	LAN	RJ45	RJ45 コネクタ
⑧	USB-C2.0 IN	USB-C 2.0（5V、3A）	USB-C コネクタ
⑨	HDMI1 IN	HDMI	HDMI コネクタ
⑩	HDMI2 IN	HDMI（HDMI ARC 対応）*	HDMI コネクタ
⑪	USB-B UP	USB-B 2.0（5V、500mA）	USB-B コネクタ
⑫	USB	USB2.0（5V、500mA）	USB コネクタ
⑬	USB	USB2.0（5V、500mA）	USB コネクタ
⑭	オーディオ出力	ø 3.5mm ミニジャック	ヘッドホンコネクタ
⑮	IR IN	ø 3.5mm ミニジャック	IR コネクタ
⑯	IR OUT	ø 3.5mm ミニジャック	IR コネクタ
⑰	スピーカー		
⑱	補強リブ		
⑲	ハンドル		

* HDMI ARC 機能は、HDMI with One Wire を有効にした場合にのみ使用できます。 接続する機器（サウンドバーなど）が HDMI ARC を搭載 / サポートしている必要があります。

モニタの取り付け

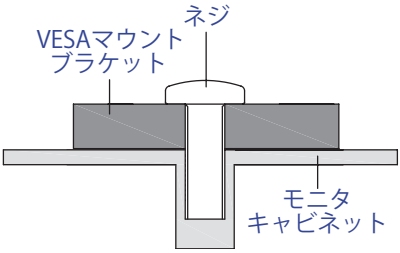
注意

- 取り付け機器の取扱説明書の指示に従ってください。資格のあるサービス担当者にすべてのサービスを委託してください。
- 本製品を移動させる時は、2 人以上で行ってください。
- 取り付けの前に、壁が本製品を取り付けるのに十分な強度があることを確認してください。。
- 本製品は、モニタ画面を下向き / 上向きにして使用することはできません。
- ネジの締め付けが不十分な場合、モニタが外れてけがや破損の原因となることがあります。

< 壁かけでご使用する場合 >

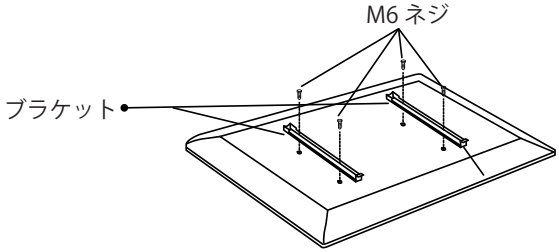
M6/M8 × 16/18mm* のネジ 4 本を使用して、VESA マウントブラケットをモニタに固定します。ネジがすべて正しく締め付けられ、固定されていることを確認してください。
壁掛けで使用する場合は、VESA マウントブラケットの厚みを考慮する必要があります。VESA マウントブラケットの厚みは約 2.5mm を想定しています。
これより長いネジを使用すると、モニタ内部の電気部品に接触し、感電や破損の原因となることがあります。

* M6(L=18mm) : ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS
M8(L=16mm) : ProLite LH6564UHS / ProLite LH7564UHS / ProLite LE9864UHS

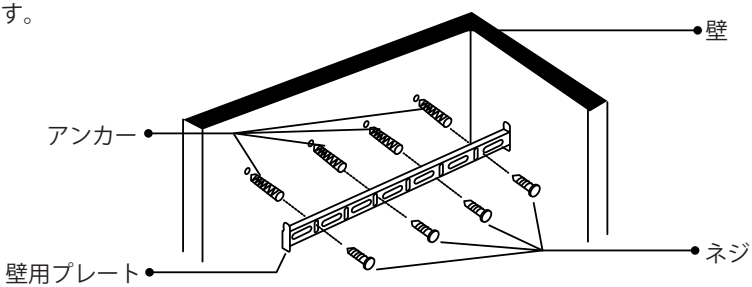


● ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS

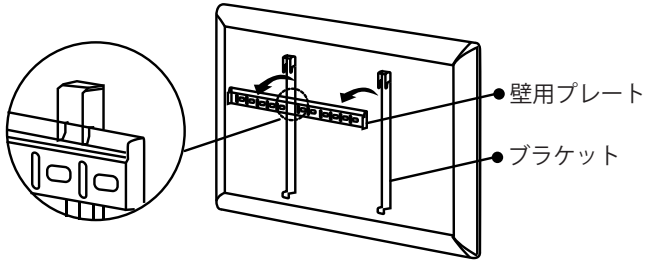
① M6x18mm ネジ 4 本でモニタ背面へブラケット 2 個を固定する。

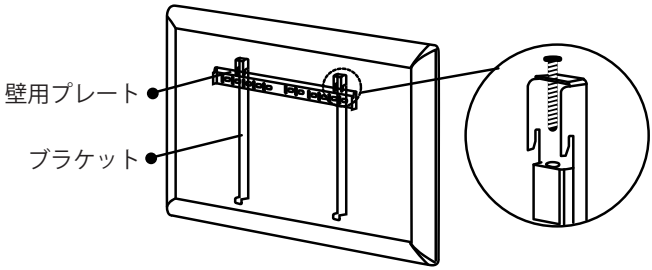


② 壁用プレートの位置を決めて、必要に応じて穴を開け、ST7x55mm のネジ 4 本とアンカーで固定します。



③ 組み立てたモニタユニットを壁用プレートに吊り下げ、モニタの下部を押してブラケットを固定します。 組み立てが完了したら、すべての配線とケーブルをきれいに整理します。

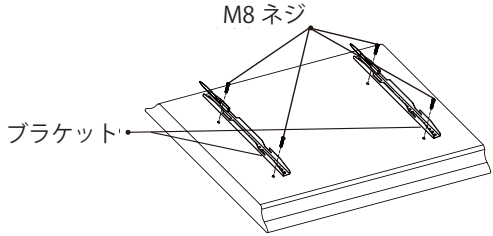




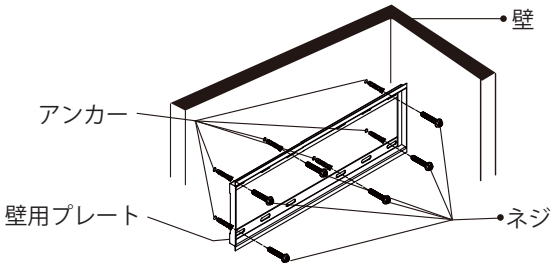
日本語

● ProLite LH6564UHS

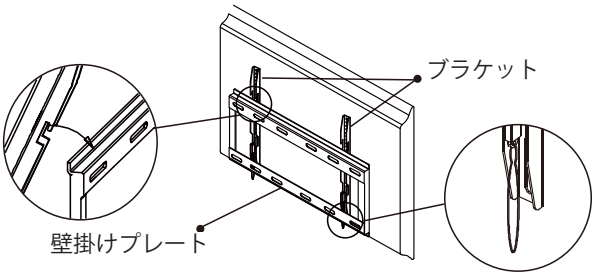
① M8x16mm ネジ 4 本を使って、モニタ背面へブラケット 2 個を固定する。



② 壁用プレートの位置を決めて、必要に応じて穴を開け、ST7x55mm のネジ 6 本とアンカーで固定します。



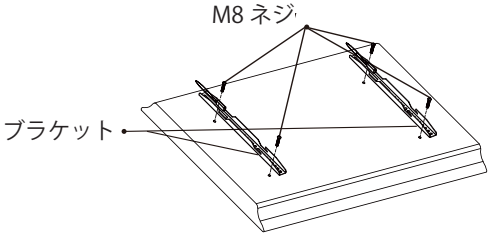
③ 組み立てたモニタユニットを壁用プレートに吊り下げ、モニタの下部を押してブラケットを固定します。 組み立てが完了したら、すべての配線とケーブルをきれいに整理します。



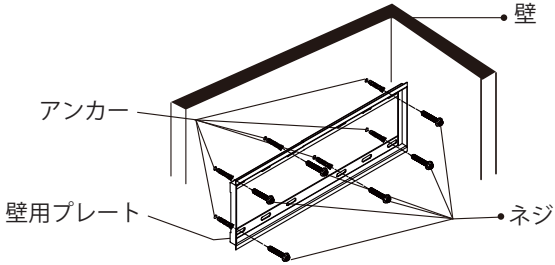
日本語

● ProLite LH7564UHS

① M8x16mm ネジ 4 本を使って、モニタ背面へブラケット 2 個を固定する。



② 壁掛けプレートの位置を決めて、必要に応じて穴を開け、ST7x55mm のネジ 6 本とアンカーで固定します。

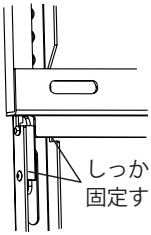


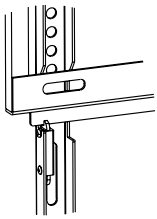
③ 壁面に取り付ける前に、電源ケーブルと信号ケーブルを機器に接続してください。ブラケットを壁用プレートに取り付けてから、電源を入れてください。

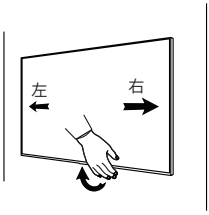
1. ブラケットのフックを壁板の切り欠きまたは右端にスライドさせ、壁用プレートを垂直に合わせ、しっかりと固定してください。

2. 図のように、壁用プレートを水平にスライドさせてブラケットを壁用プレートの切り欠きがない側（または左端）に引っ掛けます。

3. 壁用プレートの底部をわずかに上向きに傾けて安定性を確認してください。わずかな傾きで壁用プレートが確実に固定されていることが確認できます。



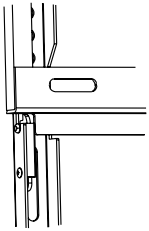




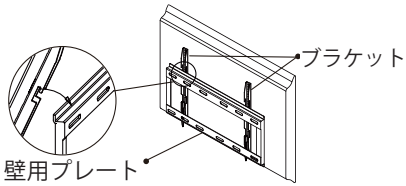
④ 取り外す前に電源を切り、プラグを抜いてください。

補足 装置の損傷を防ぎ、安全を確保するため、少なくとも 2 人が必要です。

1. ブラケットのフックを壁板の右端までスライドさせてください。



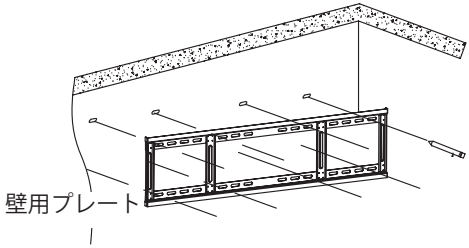
2. モニタを壁用プレートから持ち上げてください。



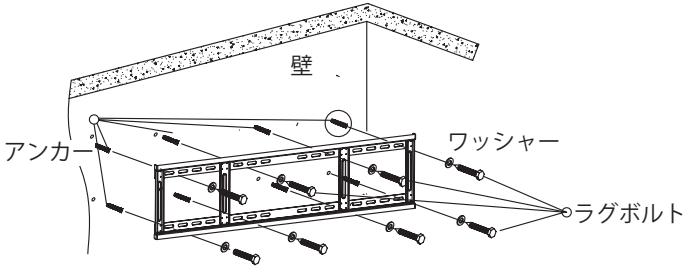
日本語

● ProLite LE9864UHS

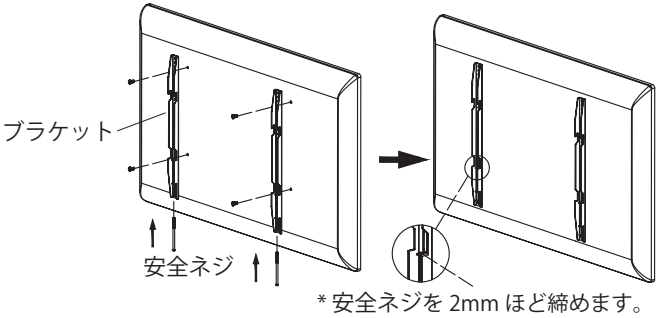
① 壁に穴の位置をマークし、壁用プレートが水平であることを確認してください。



② 壁用プレートを壁に取り付けます。 壁用プレートの位置を決め、必要に応じて穴を開けて、ラグボルト、ワッシャー、アンカー各 8 個で固定します。

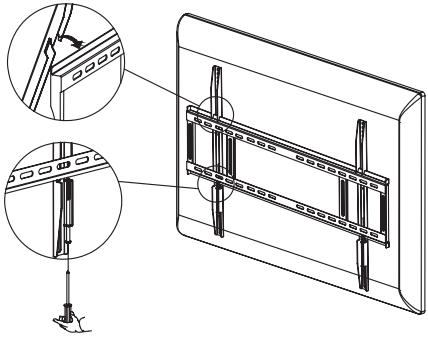


③ M8x16mm のネジ 4 個を使用してブラケットをモニタへ取り付けます。ネジで固定し、安全ネジ 2 個で締めてください。



④ モニタユニットを慎重に壁用プレートに取り付けます。

補足　ブラケットを壁用プレートにしっかりと掛けた後、ラグボルトが完全に締まっていることを確認してください。

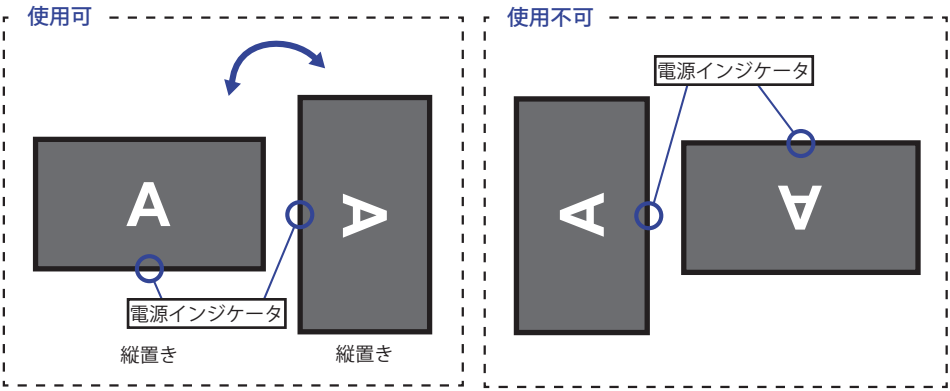


日本語

< 画面の回転 >

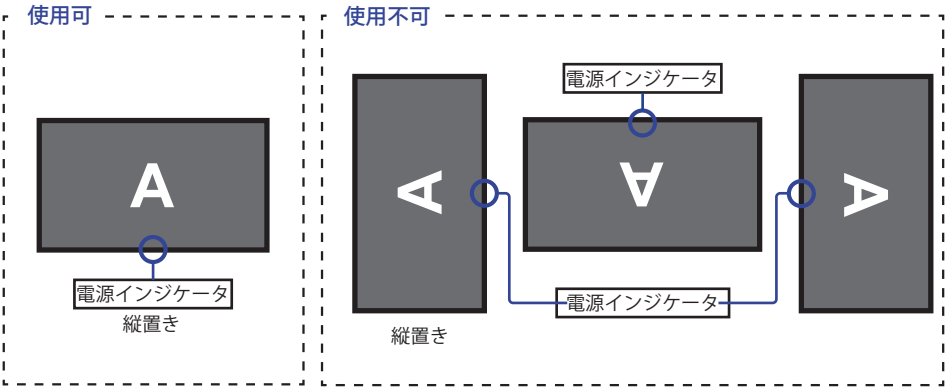
● ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS / ProLite LH6564UHS / ProLite LH7564UHS

本製品は、横置きと縦置きで使用できるように設計されています。



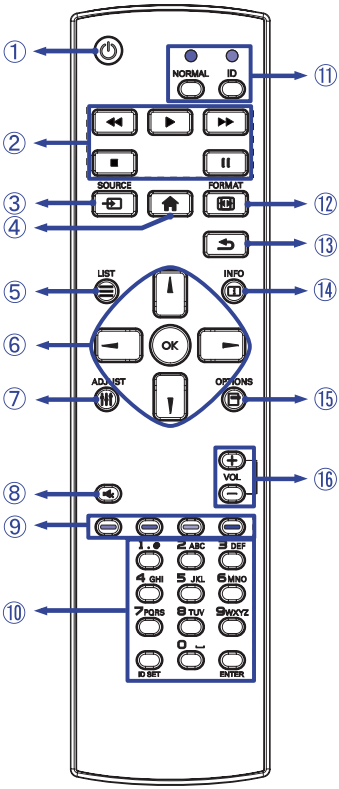
● ProLite LE9864UHS

本製品は、横置きで使用するように設計されています。



日本語

リモコンの機能



①	⏻	ディスプレイを ON/OFF します。
②	[PLAY]	メディアファイルの再生を制御する。 ▶: プレイ ■: 停止 ❚❚: 一時停止 ◀◀: 早戻し ▶▶: 早送り
③	ソース	ソースを選択します。 ▲/▼/◄/► ボタンを押して、HDMI1、HDMI2、TYPE C、ウェブプレーヤー、iiSignage、ファイルマネージャー、メディアプレーヤー、PDF プレーヤー、またはカスタムから選択します。[OK] ボタンを押して確定し、終了します。
④	HOME	ディスプレイのオンスクリーンメニューを開きます。
⑤	LIST	前のメニューに戻る。
⑥	▲ ▼ ◄ ►	メニューや設定を操作します。 ▲: 上ボタン ▼: 下ボタン ◄: 左ボタン ►: 右ボタン メディアプレーヤーで : ◄: 前のファイル　►: 次のファイル PDF プレイヤー : ◄: 前のページ　►: 次ページ
	OK	選択を確定するか、変更を保存します。
⑦	ADJUST	このモデルでは使用できません。
⑧	MUTE	メニューが表示されていないときのミュート機能のオン／オフ。
⑨	COLOR	このモデルでは使用できません。
⑩	番号 / ID セット / 入力	ネットワーク設定または ID 設定のテキストを入力します。
⑪	ID モード	ID：ID モードに入る NORMAL：ID モードから抜ける
⑫	FORMAT	画像フォーマットを変更する。
⑬	BACK	前のメニューに戻るか、OSD メニューを閉じます。
⑭	INFO	ボタンを 6 秒間押すと、リモコンのロックが解除されます。
⑮	OPTIONS	メディアプレーヤーのメディアファイルを操作します。
⑯	ボリューム - / +	VOLUME- : 音量を下げます。 VOLUME+ : 音量を上げます。

日本語

リモコンの準備

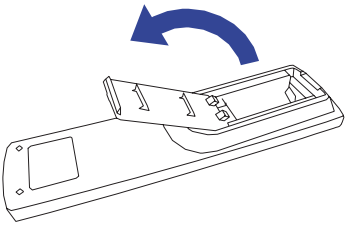
リモコンを使用するには、乾電池 2 本を挿入します。

注意

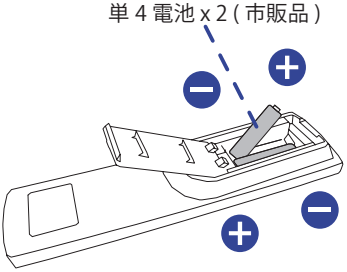
間違った取り扱いをすると電池破裂またはこれらの電池から電解液が漏れ、火災やけがの原因となります。

- **リモコンの電池は、指定された以外の他の電池は使用しないでください。**
- **古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。**
- **電池の " ＋ " と " － " を間違えて挿入しないでください。**
- **バッテリー・コンパートメント内に液体が漏れるのを防ぐため、電池切れの電池はすぐに取り外してください。**
- **破裂した電池やその電解液は、汚損、発火、人身事故 の原因となることがあります。**

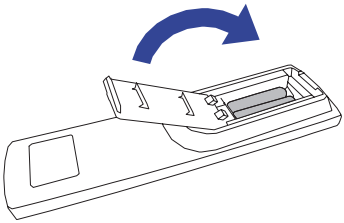
① 電池カバーを押し、スライドさせて開けます。



② リモコンの電池ポートに単 4 電池 2 本を挿入します。（リモコンの表示 " ＋ "" － " に従う）



③ 電池カバーを元に戻します。



日本語

補足

■ 電池を取り出すときは、上記を参照してください。
■ モニタの近くでリモコンが動作しない場合は、新しい電池と交換してください。 単 4 電池を使用してください。 電池の種類を間違えると破裂の危険があります。
■ リモコンはモニタのリモートセンサーに向けて操作してください。
■ 他社製のリモコンはこのモニタでは動作しません。 付属のリモコンのみを使用してください。
■ 使用済みの電池は、廃棄するために市の規則に従う必要があります（提案：使用済みの電池を廃棄するために、あなたの議会の規則に従って正しいポリシーに従ってください）。
■ 電池は、日光や火気などの過度の熱にさらさないでください。
■ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。

ID リモコン

特定のモニタでリモコンを使用する場合に、リモコン ID を設定することができます。

ID モード（ID モードに入るには）：
赤い LED が 2 回点滅するまで ID ボタンを押し続ける。
通常モード（ID モードから抜ける）：
緑色の LED が 2 回点滅するまで、Normal ボタンを押し続けます。

■ プログラミング ID モード

リモコンに ID を割り当てる。
1. ID モードに入る。
2. 赤色 LED が 2 回点滅するまで ID SET ボタンを押し続けます。
3. 数字ボタンで希望の ID を入力（01 ～ 255）
4. ENTER ボタンを押して ID を確定します。
5. ID が確認されると赤色 LED が 2 回点滅します。

補足

・10 秒以内にどのボタンも押さないと、ID モードを終了します。
・桁以外のボタンを押し間違えた場合は、赤色 LED が消灯し、再点灯後 1 秒待ってから再度正しい桁を押してください。
・ID のプログラミングをキャンセルまたは停止するには、ID SET ボタンを押します。
・ID 番号を選択する前に、モニタごとに ID 番号を設定する必要がある。

■ ID モードを使用する

1. ID モードに入る。
2. 制御したいモニタの ID を数字ボタンで入力します。
3. INPUT ボタンを押す。

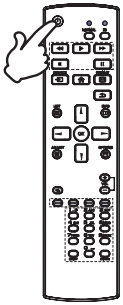
基本操作

■モニタの電源を入れる

モニタまたはリモコンの電源ボタンを押すと、モニタの電源がオンになり、電源インジケータが透明に変わります。モニタまたはリモコンの電源ボタンを押すと、モニタの電源がオフになり、電源インジケータが赤に変わります。もう一度押すと、モニタの電源がオンになります。

補足

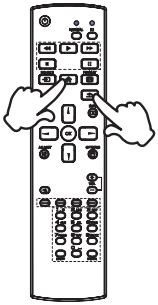
スタンバイモードや電源スイッチをオフにしても、モニタは微量の電力を消費します。モニタを使用しないときや夜間は、電源ケーブルをコンセントから外し、無駄な電力消費を防いでください。



.

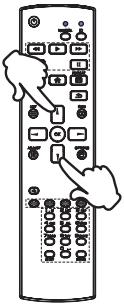
■調整メニューページを表示する

リモコンの HOME ボタンを押すと、画面にメニューページが表示されます。
を押すとメニューページが消えます。リモコンの BACK ボタンを押すと、メニューページは消えます。



■カーソルを垂直に移動する

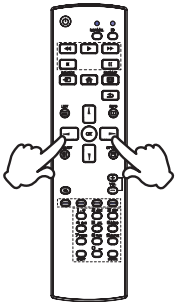
画面にメニューページが表示されている間にリモコンの ▲/▼ ボタンを押して、調整メニューを選択します。



日本語

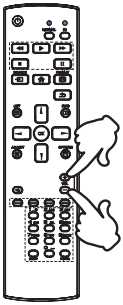
■ **カーソルを水平に移動する**

メニューまたは設定を選択するか、画面にメニューページが表示されている間にリモコンの ◄ / ► ボタンを押して調整を行ってください。



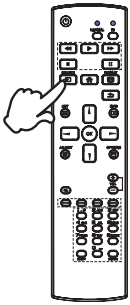
■ 音量調整

画面にメニューページが表示されていないときは、リモコンの＋／ -- ボタンを押して音量を調整します。



■ **入力信号の切り替え**

リモコンの SOURCE ボタンを押して入力信号を切り替えます。



コンピュータとの接続：ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS / ProLite LH6564UHS / ProLite LH7564UHS

警告

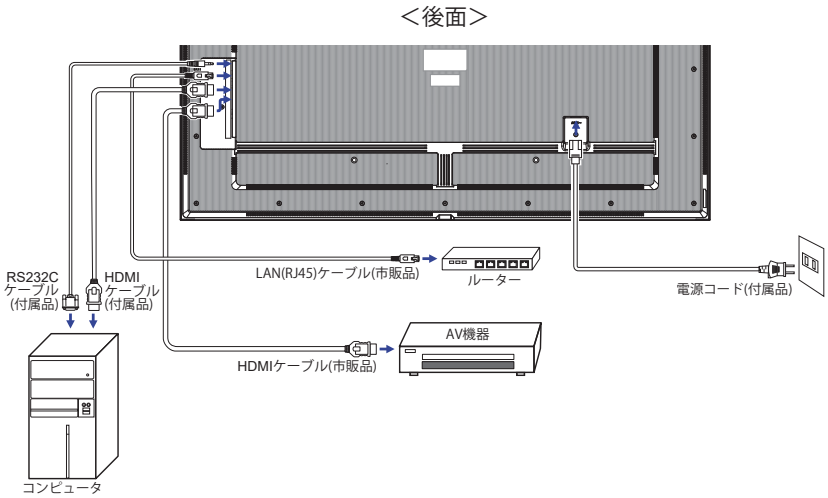
- 安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。
- アースリードをコンセントに挿入,接触させないでください。火災や感電の原因となります。

注意

- 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。
- USB Type-C ケーブルの抜き差しは、プラグをコネクタに対してまっすぐに差し込み、まっすぐに引き抜くようにしてください。プラグを斜めに抜き差しすると、コネクタ内部のピンが損傷するおそれがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
② HDMI ケーブルを、モニタとコンピュータに接続します。
③ RS232C を使用する場合は、RS232C ケーブルをモニタとコンピュータに接続します。
④ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。
⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。
⑥ モニタ (主電源スイッチ / 電源ボタン）およびコンピュータの電源を「ON」にします。
⑦ OOBE (初期設定) の指示に従って画面設定を完了させます。

[接続例]



本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。必ずルーター等を経由し接続してください。

日本語

コンピュータとの接続：ProLite LE9864UHS

警告

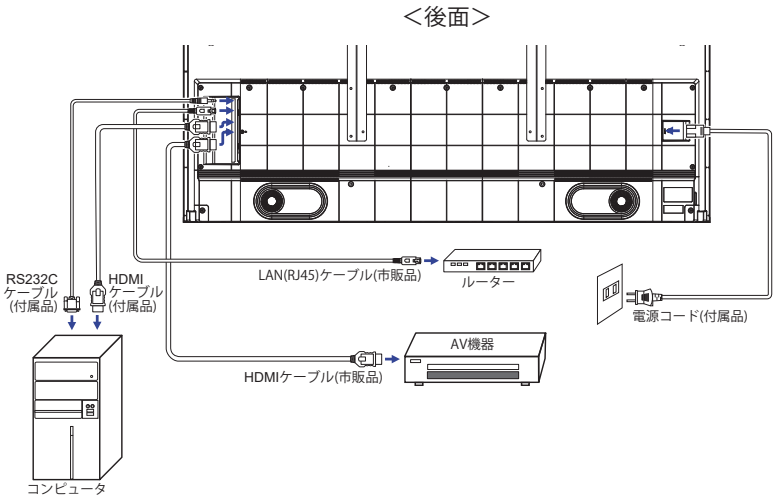
- 安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。
- アースリードをコンセントに挿入,接触させないでください。火災や感電の原因となります。

注意

- 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。
- USB Type-C ケーブルの抜き差しは、プラグをコネクタに対してまっすぐに差し込み、まっすぐに引き抜くようにしてください。プラグを斜めに抜き差しすると、コネクタ内部のピンが損傷するおそれがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
② HDMI ケーブルを、モニタとコンピュータに接続します。
③ RS232C を使用する場合は、RS232C ケーブルをモニタとコンピュータに接続します。
④ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。
⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。
⑥ モニタ (主電源スイッチ / 電源ボタン）およびコンピュータの電源を「ON」にします。
⑦ OOBE (初期設定) の指示に従って画面設定を完了させます。

[接続例]



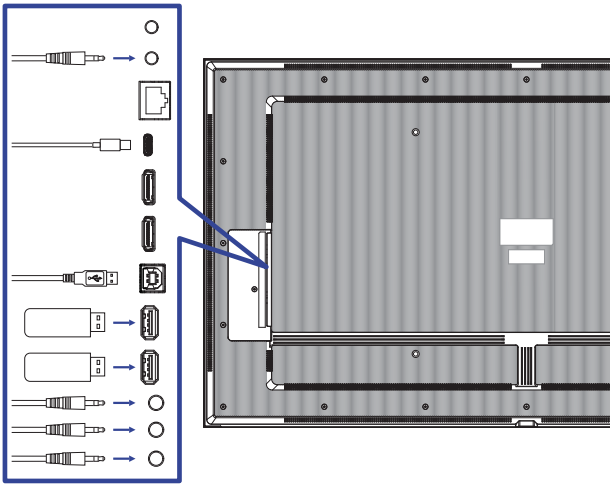
本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。必ずルーター等を経由し接続してください。

[周辺機器との接続例]

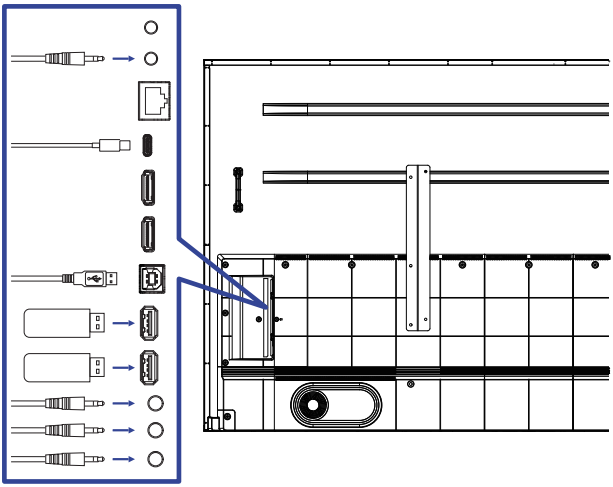
注意 感電や損傷を防ぐため、接続する前に電源スイッチをオフにし、モニタと周辺機器の接続プラグを抜いてください。

補足
- 周辺機器の取扱説明書も併せて参照してください。
- 必要に応じて各ケーブルをご用意ください。

■ **ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS / ProLite LH6564UHS / ProLite LH7564UHS**



■ **ProLite LE9864UHS**

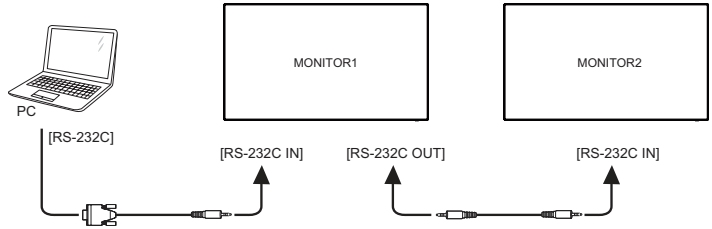


日本語

[デイジーチェーンについて]

■モニタコントロール接続

RS-232C

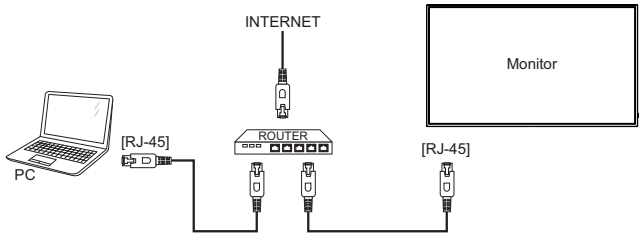


[ネットワークのセットアップ]

1. ルーターのスイッチをオンにして DHCP の設定に切り替えます。
2. LAN ケーブルでディスプレイとルーターを接続します。
3. リモコンの HOME ボタンと 1668 を押し、そして Setup を選択します。
4. " ネットワークとインターネット " を選択し、そして OK ボタンを押します。
5.「イーサネット」を選択し、OK ボタンを押してください。
6. 画面の指示に従ってネットワークをインストールしてください。

補足

EMC 指令に準拠するため、シールド付き CAT-5 イーサネットケーブルで接続してください。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.69「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

操作手順

P.69 の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作をおこなってください。
オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

① **リモコンの HOME ボタンを押すか、デスクトップでシステム設定を選択すると、画面にメニュー（オンスクリーンディスプレイ）が表示されます。リモコンの ▲/▼ ボタンで調整項目を送ります。**

② **調整したいメニュー項目を選択します。リモコンの ► ボタンを押し、▲/▼ ボタンで目的の調整項目を選択します。その後、OK ボタンを押してメニューページに入ります。**

③ **リモコンの ▲/▼/◄/► ボタンを使用して、適切な調整または設定を行っていきます。**

④ **リモコンの ↩ ボタンを押してメニューを終了します。設定した内容が自動的に保存されます。**

例えば、シャープネスを補正するには、「一般」メニュー項目を選択します。リモコンのボタンを押した後、▲/▼ ボタンで「画像」を選択します。OK を押した後、▲/▼ ボタンで「シャープネス」を選択します。
リモコンの ◄ / ► ボタンを使用してシャープネス設定を変更します。操作中はモニタ全体のシャープネスがそれに応じて変化します。

最後にリモコンの ↩ ボタンを押すと終了し、すべての変更がメモリに保存されます。

補足
- リモコンの ↩ ボタンを使用すると、前のメニュー項目に戻ることができます。
- オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源をオフにしないでください。
- 調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

日本語

調整メニューの内容

ネットワーク
Network

調整項目	画面の状態	
ネットワークステータス Network Status	接続が完了すると、IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、DNS を自動的に表示します。	
WiFi WiFi	無線 LAN 機能の有効 / 無効および WiFi デバイスとのペアリングを設定します。	
イーサネット Ethernet	有線ネットワークの設定 オン／オフ	
	IP アドレスの取得	自動取得
		手動設定
ホットスポット Hotspot	ホットスポット機能を設定します。	

日本語

一般
General

調整項目	画面の状態		調整ボタン
画像 Picture	輝度 *1	暗すぎる 明るすぎる	
	コントラスト *2	弱すぎる 強すぎる	
	シャープネス *2	ソフトすぎる シャープすぎる	
	黒レベル *2	黒が暗すぎる 黒が明るすぎる	
	色合い *2	紫がかった 緑がかった	
	カラー *2	弱すぎる 強すぎる	
	ノイズ低減 *2	オフ	ノイズリダクションをオフします。
		低	さまざまなメディアプレーヤーに起因する電子画像ノイズを低減。
		中	さまざまなメディアプレーヤーに起因する電子的な画像ノイズを、低よりも低減。
		高	さまざまなメディアプレーヤーに起因する電子画像ノイズを、中よりも低減。
	ガンマ選択 *2	ガンマを設定できます。 ネイティブ / 2.2 / 2.4 / S ガンマ / D イメージ	
	色温度	3000 K	9300 K
		4000 K	10000 K
		5000 K	ネイティブ　本来の色温度
		6500 K	ユーザー 1　ユーザープリセット 1
		7500 K	ユーザー 2　ユーザープリセット 2
	カラーコントロール *3	ユーザーカラーを設定します。	
		ユーザー 1	赤
			緑
			青
		ユーザー 2	2000K-10000K
			弱すぎる 強すぎる
	画像リセット	キャンセル	メニューに戻ります。
		リセット	画像設定は工場出荷時のプリセットに戻します。

日本語

一般
General

調整項目	画面の状態		調整ボタン
音声 Audio	バランス	左側スピーカーの音量が大きくなる 右側スピーカーの音量が大きくなる	
	高音	弱すぎる 強すぎる	
	低音	弱すぎる 強すぎる	
	音量	音量が小さすぎる 音量が大きすぎる	
	オーディオ出力 （ライン出力）	音声出力の音量を調整します。 音量が小さすぎる 音量が大きすぎる	
	最大音量	最大音量を設定します。	
	最小容量	最小音量を設定します。	
	ミュート	オフ	音量を前のレベルに戻します。
		オン	一時的に音を消します。
	オーディオ出力同期	オフ	スピーカーの音量とオーディオ出力（ライン出力）の音量の同期をオフします。
		オン	スピーカーの音量とオーディオ出力（ライン出力）の音量を同期します。
	スピーカー設定	オフ	内蔵スピーカーを無効にします。
		オン	内蔵スピーカーを有効にします。
	オーディオリセット	キャンセル	メニューに戻ります。
		リセット	オーディオ設定を工場出荷時のプリセットに戻します。
OSD 設定 OSD setting	OSD タイムアウト	OSD の表示時間を 5 ～ 120 秒の間で設定できます。 オフ／ 5 ～ 120 秒	
	OSD 水平位置	OSD が左過ぎる OSD が右過ぎる	
	OSD 垂直位置	OSD が低すぎる OSD が高すぎる	
	OSD 透明度	OSD の背景を透明にする。 オフ / 5 - 100	

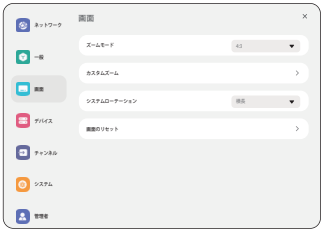
日本語

一般
General

調整項目	画面の状態		整ボタン
OSD 設定 OSD setting	OSD 情報	情報 OSD が画面右上に表示される時間を設定します。 オフ／ 1 ～ 60 秒	
カスタマイズ Customised	ロゴと アニメーション の設定	オフ	モニタの電源を入れたとき、iiyama ロゴとアニメーションが表示されません。
		オン	モニタの電源を入れると、iiyama ロゴとアニメーションが表示されます。
		ロゴ設定	ブートロゴを選択します。
		アニメーション設定	ブートアニメーションを選択します。
	壁紙	壁紙を設定します。	
無信号画像 No signal image	無信号画面の画像をカスタマイズします。 オフ／オン／ユーザー		
スケジュール Schedule	スケジュール リスト	最大 7 つのスケジュールを設定可能。	
	開始時間 *4	開始時間を設定します。	
	終了時刻 *4	終了時間を設定します。	
	入力	次回自動電源投入時のデフォルト入力ソースを選択します。 HDMI1 / HDMI2 / USB-C / Web Player / CMS / File Manager*5 / Media Player / PDF Player / Custom	
	プレイリスト	Media Player、PDFPlayer、Browser のプレイリストを選びます。	
	曜日	月 / 火 / 水 / 木 / 金 / 土 / 日の曜日を設定します。	
	1 週間のみ実行	毎週繰り返すかどうかの設定 をします。 オフ／オン	
	有効 *6	スケジュールを有効 / 無効にします。	
オフタイマー Off timer	モニタの電源をオフする時間を設定します。 オフ / 1 - 24 時間		

*1 暗い部屋でモニタを使用していて、画面が明るすぎると感じる場合に明るさを調整します。パネル保存の明るさがオンの場合、明るさの調整は無効になります。
*2 メディアプレーヤー、Browser、CMS、PDF プレーヤー、カスタム入力では使用できません。
*3 色温度が「ユーザー 1/ ユーザー 2」に設定されている場合のみ選択できます。
*4 スケジュールの開始時刻は終了時刻よりも小さい必要があります。
*5 USB フラッシュドライブ内の iiyama_play フォルダ内の写真またはビデオファイルを、スケジュール設定を使用して自動的に再生することができます。 再生順序はアルファベット順で、0 ～ 9、aA ～ zZ、大文字と小文字は区別されません。
*6 「有効」の調整は、開始時刻、終了時刻、入力、週が正しく設定された後に行ってください。

画面
Screen



調整項目	画面の状態	
ズームモード *1 Zoom mode	フル	画像ソースが 4:3（標準画質）の場合、画面いっぱいに画像を水平に拡大します。 画像ソースが 16:9（高画質）の場合、拡大縮小されません。
	4:3	すべての写真を 4:3 のアスペクト比で表示します。
	リアル	ドットごとに画像を表示します。
	21:9	すべての画像を 21:9 のアスペクト比で表示します。
	カスタム	ズーム画面をカスタマイズして表示します。
カスタムズーム *2 Custom zoom	ズーム	画像の水平方向と垂直方向のサイズを同時にズームします。
	水平ズーム	画像の水平サイズを拡大します。
	垂直ズーム	画像の直垂サイズを拡大します。
	水平位置 *3	ズーム / 水平ズーム値
	垂直位置 *3	ズーム / 垂直 ズーム値
システム ローテーション System rotation	横長	OSD を横向きで表示します。
	縦長	OSD を縦向きで表示します。
画面のリセット Screen reset	キャンセル	メニューに戻ります。
	リセット	画面設定を工場出荷時のプリセットに戻します。

*1 メディアプレーヤー、Browser、CMS、PDF プレーヤー、カスタム入力では使用できません。
*2 ズームモードを「カスタム」に設定している場合のみ選択できます。
*3 ズーム、水平ズーム、垂直ズームの値が「0」の場合、水平位置、垂直位置の調整はできません。

デバイス
Device

調整項目	画面の状態		
電源オン状態 Power on status	強制オン	電源コードをコンセントに接続するとモニタの電源をオンにします。	
	電源オフ	電源コードをコンセントに接続しても、モニタの電源はオフのままにします。	
	最終ステータス	電源コードを抜き差しすると、モニタは以前の電源状態（オン / オフ / スタンバイ）に戻します。	
RS232 ルーティング RS232 routing	RS232 制御ポートを選択します。 RS232 / LAN RS232		
赤外線制御 IR control	RS232C 接続で複数のモニタを接続している場合のリモコンの動作モードを選択します。		
	すべてロック	リモコンをすべてロックします。	
	電源以外すべてロック	リモコンの電源以外をロックします。	
	音量以外すべてロック	リモコンの音量以外をロックします。	
	電源と音量以外すべてロック	リモコンの音量と電源以外をロックします。	
	ロック解除 *1	リモコンのロックを解除します。	
物理ボタン Physical button	有効	モニタ上の物理ボタンの使用を許可します。	
	無効	誤って使用しないように物理ボタンを無効にします。	
省電力 Power saving	WOL	オフ	ウェイクオン LAN 機能を無効にします。
		オン	ウェイクオン LAN 機能を有効にします。
	ソース入力 ウェイクアップ	オフ	ソース入力ウェイクアップ機能を無効にします。
		オン	アクティブ信号が検出されたときにモニタをスタンバイ状態から復帰させます。
	自動電源オフ時間 *3	オフ	自動電源オフ時間を無効にします。
		オン	60 分 /90 分 /120 分 /150 分 /180 分 /210 分 /240 分後にモニタのオートパワーオフを有効にします。
パネルセービング Panel saving	輝度	オフ	バックライト調整をオフします。
		オン	画像の明るさは最大値の 40% に低下します。

日本語

デバイス
Device

調整項目	画面の状態		
パネルセービング Panel saving	ピクセルシフト	モニタのピクセル位置を上下左右の 4 方向にわずかにずらします。	
		自動	画像の位置を自動で移動します。
		オフ	ピクセルシフトをオフします。
		オン	画像の位置を一定間隔の時間で移動します。10 ～ 900 秒
モニタ情報 Monitor information	モニタのモデル名、シリアル番号、稼働時間、ソフトウェアバージョンなどの情報を表示します。		
その他 Other	モニタ ID	モニタに ID を設定します。 1 - 255	
	電源 LED ライト	オフ	電源 LED ライトをオフにします。
		オン	電源 LED ライトをオンにします。

*1 ロックを解除するには、リモコンの INFO ボタンを 6 秒間押し続けます。
*2 電動スタンドに接続されていない場合は無効になります。
*3 自動電源オフのデフォルトのタイミングは 180 分です。この機能は、ディスプレイの初回起動時または OSD のアドバンスオプションメニューで無効にしたり、別のタイミングに変更できます。

チャンネル
Channel

調整項目	画面の状態	
ブートオンソース *1 Boot on source	最終 ステータス	電源を入れると、最後に電源を切ったときと同じ設定から始めます。 オフ／オン
	入力	起動時の入力ソースを選択します。 HDMI1 / HDMI2 / USB-C / ウェブプレーヤー / CMS / ファイルマネージャー / メディアプレーヤー / PDF プレーヤー / カスタム
	プレイリスト	Browser、メディアプレーヤおよび PDF プレーヤーのための再生リストを選択します。
入力チャンネル名の変更 Rename input channel	各信号ソースの名前をカスタマイズします。	
自動ソース切り替え *2 Auto source switching	オフ	自動信号検出を無効にします。
	オン *3	デフォルト入力に信号がない場合、すべてのソースを自動的に検出し、利用可能な信号を自動的に選択します。
消失信号検出 Signal lost detection	信号喪失時に切り替え	最後に使用されたソースを選択するか、指定された入力にロックするか、またはデフォルトの入力に信号がない場合、ユーザーが設定した順序に従ってソースを自動的に検出します。 オフ / 最近の入力 / 固定ソース / 順序
HDMI バージョン *4 HDMI version	HDMI のバージョンを設定する。 2.0/1.4	

*1 フェイルオーバー機能はなく、信号ソースが入力されていなくても、システムはソースを保持します。

*2 モニタは利用可能な信号ソースを自動的に検出し、選択します。

*3 検出順序：HDMI1 ⟶ HDMI2 ⟶ USB-C ⟶ ウェブプレーヤー ⟶ CMS ⟶ ファイルマネージャー ⟶ メディアプレーヤー ⟶ PDF プレーヤー ⟶ カスタム

*4 HDMI 入力のみ。

日本語

システム
System

調整項目	画面の状態			
言語 Language	日本語	日本語	Čeština	チェコ語
	English	英語	Deutsch	ドイツ語
	Français	フランス語	Italiano	イタリア語
	Español	スペイン語	Русский	ロシア語
	Polski	ポーランド語	Nederlands	オランダ語
	Dansk	デンマーク語	Svenska	スウェーデン語
	Suomi	フィンランド語	Norsk bokmål	ノルウェー語
システムアップデート System update	バージョン	ファームウェアのアップデートをします。		
	ローカルアップデート			
設定リセット Setting reset	キャンセル	メニューに戻ります。		
	リセット	システム設定を工場出荷時のプリセットに戻します。		
ファクトリーリセット Factory reset	キャンセル	メニューに戻ります。		
	リセット	工場出荷時のプリセットに戻します。		
Android 設定 Android setting	アンドロイド・ランチャーにアクセスします。			

管理者
Admin

調整項目	画面の状態	
メニューロック Menu Lock	管理者は 6 桁のパスワードを設定することができます。設定後、管理者ページに再度入るには、対応するパスワードを入力します。	
会議室 Meeting room	電源が入っているときは、信号がなく画面がスタンバイ状態でもリモコンやボタン、あるいは画面とシステムを接続する信号伝達ケーブルを使って、いつでも画面を起動させることができます。	
HDMI CEC HDMI CEC	オフ	HDMI CEC に従ってリンクを無効にします。
	オン	HDMI CEC に従ってリンクを有効にします。
画面シェア Screen Share	画面共有システムを選択します。	
Miracast スタンバイ Miracast standby	オフ	スタンバイモード中の Miracast 受信を無効にします。
	オン	スタンバイモード中の Miracast 受信を有効にします。
ログエクスポート Log export	トラブルシューティングやレビューのためにシステムログをエクスポートします。	
赤外線制御 IR control	RS232C 接続で複数のモニタを接続している場合のリモコンの動作モードを選択します。	
	すべてロック	リモコンをすべてロックします。
	電源以外すべてロック	リモコンの電源以外をロックします。
	音量以外すべてロック	リモコンの音量以外をロックします。
	電源と音量以外すべてロック	リモコンの音量と電源以外をロックします。
	ロック解除 *	リモコンのロックを解除します。
工場出荷時設定へ戻します Factory reset	キャンセル	メニューに戻ります。
	リセット	工場出荷時のプリセットに戻します。

* ロックを解除するには、リモコンの INFO ボタンを 6 秒間押し続けます。

日本語

初期設定

① 表示言語を選択します。

② ネットワーク接続を選択します。

③ クローン元を選択します。

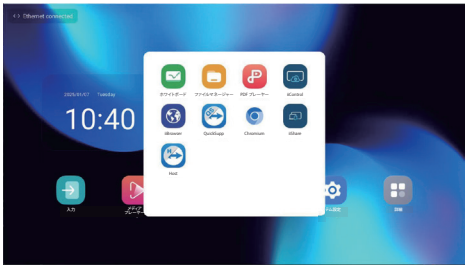
④ モニタの情報を設定します。

⑤ エネルギーの節電を設定します。

日本語

アプリケーション

リモコンの☰LIST ボタンを押します。



[入力ソース]

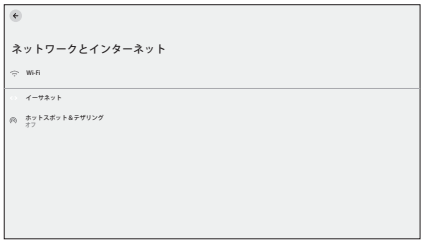
接続する入力ソースを選択します。

日本語

[アンドロイド設定]

OSD メニューから「Android 設定」オプションを選択し、Android 設定にアクセスします。

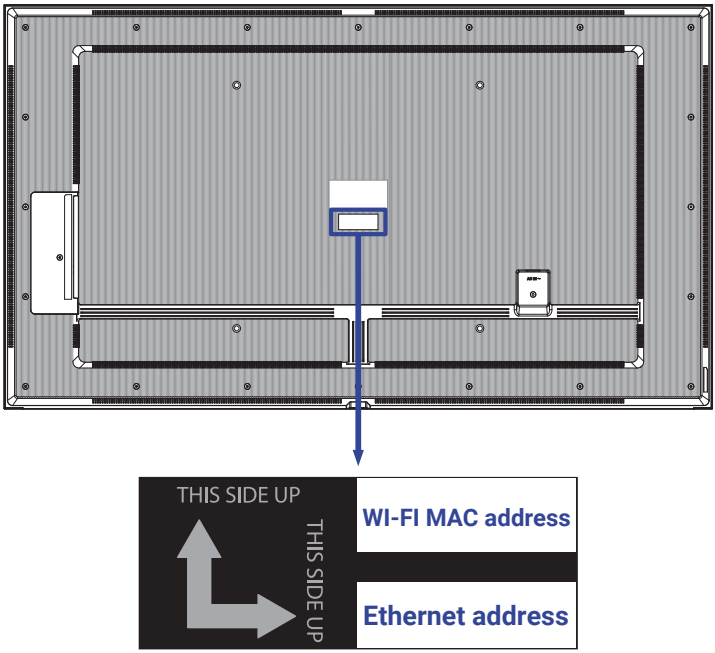
ネットワークと インターネット
Network & internet



調整項目	画面の状態	
Wi-Fi Wi-Fi	無線 LAN 機能の有効 / 無効および WiFi デバイスとのペアリングを設定します。	
	Wi-Fi	Wi-Fi ネットワークのリストを表示します。
	ネットワークを追加	ネットワーク名
		セキュリティ
		高度なオプション
	ネットワーク設定	Wi-Fi を自動的にオンにする
		利用可能なパブリックネットワークを通知する
		証明書をインストール
		Wi-Fi ダイレクト
	保存された ネットワーク	このモニタに無線 LAN ネットワークを保存します。
イーサネット *1 Ethernet	有線ネットワークの設定をします。 オン／オフ	
	MAC*2	MAC を割り当てます。
	IP アドレス	IP アドレスを割り当てます。
	ネットマスク	ネットマスクを割り当てます。
	ゲートウェイ	ゲートウェイを割り当てます。
	DNS1	DNS サーバーのアドレスを割り当てます。
	DNS2	
	IPv6 address	IPv6 アドレスを割り当てます。
	IPv6 Default gateway	IPv6 デフォルトゲートウェイを割り当てます。
	IPv6 DNS サーバー	IPv6 DNS サーバーアドレスを割り当てます。
	イーサネット IP モード	Static
		dhcp
	プロキシ	プロキシサーバーの設定 をします。 なし／手動／プロキシ自動設定
アクセスポイント＆テザリング Hotspot & tethering	Wi-Fi アクセスポイント	アクセスポイント機能を設定します。
	イーサネット テザリング	テザリング機能を設定します。

日本語

*[1] MAC アドレス / イーサネットアドレスは、モニタ背面のラベルに記載されています。

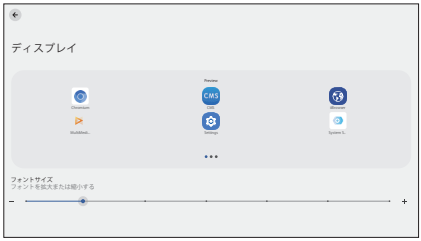


*[2] 特定のネットワーク設定で Wi-Fi MAC アドレスを使用する必要がある場合は、Wi-Fi MAC アドレス設定を「デバイスの MAC を使用」に設定してください。

アプリと通知
Apps & Notification

調整項目	画面の状態	
アプリ情報 App info	すべてのアプリケーションを表示します。	
デフォルトのアプリ Default apps	ブラウザアプリ	デフォルトのアプリを設定します。
	ホームアプリ	
	リンクを開く	
プレミッション マネージャー Premission manager	権限マネージャー	アプリのアクセス許可を設定します。

ディスプレイ
Display



調整項目	画面の状態	
文字サイズ Font size	小	フォントサイズを設定します。
	デフォルト	
	大	
	最大	

日本語

サイネージ ディスプレイ
Signage display

調整項目	画面の状態		
一般設定 General settings	看板表示名	モニタ名を設定します。	
	スクリーンショット	無効 / 有効 (間隔、開始時刻、終了時刻、繰り返し、保存先、スクリーンショットを消去する、スクリーンショットをメールで送信)	
サーバー設定 Server settings	メール通知	無効 / 有効 (SMTP、マネージャーメール、テスト)	
	FTP	無効 / 有効 (アカウント、パスワード、ストレージパス、ポート)	
ソース設定 Source settings	メディアプレーヤーの編集	メディアプレーヤーのプレイリストとエフェクトの設定を編集します。	
	ウェブプレーヤーを編集する	ブラウザのリストとエフェクトの設定を編集します。	
	PDF プレーヤーを編集する	PDF プレーヤーのプレイリストとエフェクトの設定を編集します。	
	ストレージパス	メディアプレーヤー、PDF プレーヤー、ブラウザの保存場所を設定します。	
	カスタムアプリ	カスタムアプリを編集します。	
ネットワークアプリケーション Network application	プロキシ	プロキシサーバーの設定 無効 / 有効 (プロキシサーバーのホスト名 / プロキシポート / タイプ / 認証 / ユーザー名 / パスワード	
システムツール System tools	クリアストレージ	サインフォルダ内の全データを消去します。 すべて／内部ストレージ／ USB ストレージ	
	リセット	すべてのデータを消去する	工場出荷時のプリセットデータに戻します。
	複製してインポート	クローン	OSD 設定、プレイリスト、メディアファイル * をコピーします。
		インポート	USB の下にあるサイネージフォルダからインポートする。 内蔵ストレージ
	USB 外部ストレージロック	無効	USB 外部ストレージのロックを解除します。
		有効	USB 外付けストレージのロックをします。

*　メディアファイルとは、ブラウザ、メディアプレーヤー、PDF プレーヤーの入力でプレイリストを作成する際に、このデバイスにコピーされるメディアコンテンツです。

日本語

セキュリティ
Security

調整項目	画面の状態
デバイス管理アプリ Device admin apps	資格情報の保存情報を表示します。
提供元不明のアプリ Unknown sources	提供元不明のアプリのインストールを無効 / 有効にする。

システム
System

調整項目	画面の状態	
言語と入力 Language & Input	言語	表示言語、キーボード、入力方法を設定します。 言語 : 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / イタリア語 / スペイン語 / ロシア語 / ポーランド語 / オランダ語 / チェコ語 / デンマーク語 / スウェーデン語 / フィンランド語 / ノルウェー語
	画面 キーボード	
日付と時刻 Date & time	日時を自動的に設定	日付と時刻を設定します。
	タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
	NTP サーバー	

日本語

デバイス情報
About device

調整項目	画面の状態	
法的情報 Legal information	サードパーティ ライセンス	「バージョン情報」の主な情報：法的情報 / モデル / Android バージョン / ビルド番号 / ビルドバージョン USB または SD カードから更新用 .zip ファイルを自動検索します。更新された .zip ファイルを選択すると、モニタが再起動し、更新が開始されます。
	システムの Web View ライセンス	
モデル Model	モデル	
	シリアル番号	
	ハードウェア バージョン	
Android バージョン Android version	Android バージョン	
	セキュリティアップデート	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	
ビルド番号 Build number		
ビルドバージョン Build version		

● クイック情報

リモコンの情報ボタンと番号 77 を押します。 ネットワークとモニタなどの情報を表示します。

[メディアプレーヤー]

① 内部ストレージデバイスと USB ストレージに保存されているファイルを参照します。

② 再生ファイル

異なるタイプのメディアファイルをナビゲート：すべて、写真、動画、音楽。
ファイルを選択し、OK ボタンを押して再生します。

補足

● 対応ファイルシステム：
FAT32

● 対応ファイル形式：
・写真 : JPG, JPEG, BMP, PNG, GIF
・動画 : 3G2, 3GP, AVI, F4V, FLV, MP4, M2TS, M2V, M4V, MKV, MOV, MPEG, MTS, OGM, PMP, TP, TS, VOB, WEBM
・音楽 : MP3, M4A, AAC, LPCM

● メディアホットキー
・▶ : メディアファイルを再生する
・❚❚ : メディアファイルを一時停止する
・▶❚ : 次のファイルを再生する
・❚◀ : 前のファイルを再生する
・🔁 : リピート再生
・ : シーケンシャル再生
・ : 逆再生
・🔀 : ランダム再生

● 矢印ホットキー
・◀ : 前のファイル
・▶ : 次のファイル

● 編集オプション
「Option」キーを押すと編集オプションが表示されます。
・プレイリストに追加 : ファイルを選択し、リストに追加する。

日本語

● リモコン
・オプションキー : 編集オプションを表示する
・OK キー : ファイルの選択 / 選択解除
・バックキー : 戻る
・▶ 再生 : メディアファイルを再生する
・❚❚ ポーズ : メディアファイルを一時停止する
・▶▶ 早送り : 10 秒スキップする
・◀◀ 巻き戻し : 10 秒前にスキップする
・■ ストップ : 再生中のファイルを停止し、メニューに戻る

③ プレイリスト

現在のプレイリストを表示したり、新しいプレイリストを作成します。
1. ページで「追加」を選択します。
2. プレイリストの名前を入力します。

● 編集オプション
「Option」キーを押すと編集オプションが表示されます。
・再生 : リストからファイルを再生する
・削除 : リストを削除する
・繰り上げ : ファイルをリストの一番上に移動する
・下に移動 : ファイルをリストの一番下に移動する
・削除 : ファイルを削除する

● リモコン
・オプションキー : 編集オプションを表示する
・OK / ▶ 再生キー : リストからファイルを再生する
・バックキー : 戻る

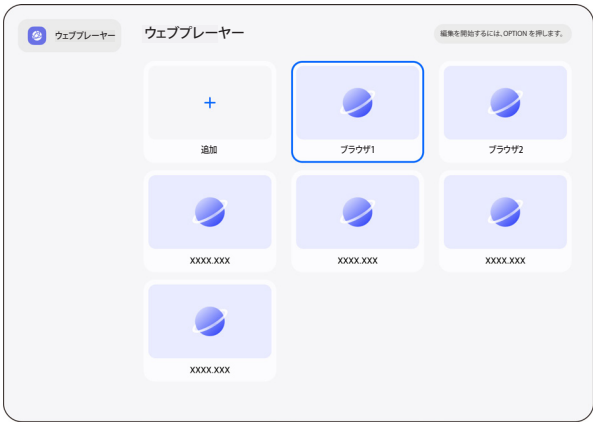
④ 再生設定

● 再生順
・再生順 : シーケンスでファイルを再生する
・リバース : ファイルを逆再生する
・ランダム : リスト内のファイルはすべてランダムに再生する
・サイクル : リスト内のすべてのファイルを繰り返し再生する

● 再生モード
・自動 : 自動再生時間 自動 5 秒 / 自動 15 秒 / 自動 30 秒 / 自動 60 秒
・手動 : ファイルを手動で再生する

● 再生スタイル
・フル : 画像をフルスクリーンに拡大する
・スケール : 画像を元のアスペクト比で表示する

[ウェブプレーヤー]



① プレイリスト
よく使う URL を設定します。
1. ページで「追加」を選択します。
2.URL を入力し、確認を押してアクセスします。

● 編集オプション
・再生 : ウェブページを開く
・削除 : URL を削除する

● リモコン
・オプションキー : 編集オプションを表示する
・OK / ▶ 再生キー : ウェブページを開く
・バックキー : 戻る

日本語

[PDF プレーヤー]

① 内部ストレージデバイスと USB ストレージに保存されているファイルを参照します。

② 再生ファイル

1. ファイルを選択し、OK ボタンを押して表示します。

● 矢印ホットキー
・◄ : 前のページ
・► : 次のページ

● 編集オプション
「Option」キーを押すと編集オプションが表示されます。
・プレイリストに追加 : ファイルを選択し、リストに追加する。

● リモコン
・オプションキー : 編集オプションを表示する
・OK キー : ファイルの選択 / 選択解除
・バックキー : 戻る
・▶ 再生 : メディアファイルを再生する
・❚❚ 一時停止 : メディアファイルを一時停止する
・■ ストップ : 再生中のファイルを停止し、メニューに戻る

③ プレイリスト
現在のプレイリストを表示したり、新しいプレイリストを作成します。
1. ページで「追加」を選択します。
2. プレイリストの名前を入力します。

● 編集オプション
「Option」キーを押すと編集オプションが表示されます。
・再生 : リストから PDF ファイルを開く
・削除 : リストを削除する
・繰り上げ : ファイルをリストの一番上に移動する
・下に移動 : ファイルをリストの一番下に移動する
・削除 : ファイルを削除する

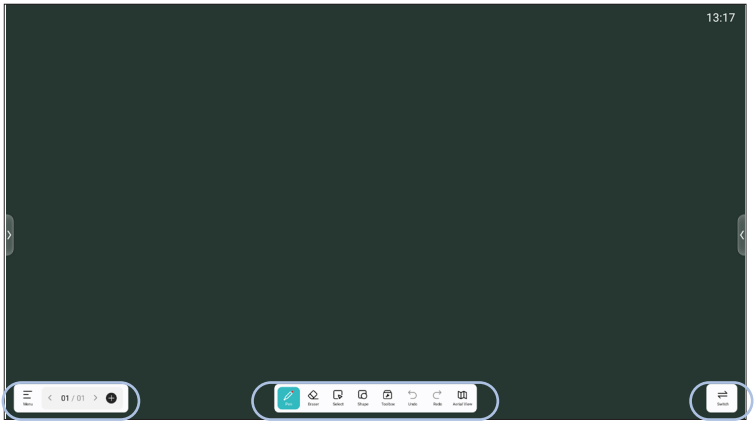
● リモコン
・オプションキー : 編集オプションを表示する
・OK / ▶ 再生キー : リストから PDF ファイルを開く
・バックキー : 戻る

④ 再生設定

● 再生順
・再生順 : シーケンスでファイルを再生する
・リバース : ファイルを逆再生する。
・ランダム : リスト内のファイルはすべてランダムに再生する
・サイクル : リスト内のすべてのファイルを繰り返し再生する

● 再生モード
・自動 : 自動再生時間 自動 5 秒 / 自動 15 秒 / 自動 30 秒 / 自動 60 秒
・手動 : ファイルを手動で再生する .

[ホワイトボード]



これは、ユーザーが仮想ホワイトボードを作成、編集、共同作業できるデジタルホワイトボードソフトウェアです。

① ☰ メニュー

New：新しいホワイトボードを作成します。
Open：既存のホワイトボードファイルを開きます。
Save：現在のホワイトボードを保存します。
Save as：現在のホワイトボードを新しい名前または場所で保存します。
Scan：ホワイトボードを共有します。スマートフォンで QR コードをスキャンして、画像を直接デバイスにダウンロードできます。
Email：キャプチャした画像をメールで送信します。
Settings：
Prevent accidental touch：オンにすると、手のひらを画面に置いても無効になります。
Display time：オンにすると、ホワイトボードの右上隅に現在の時刻が表示されます。
Multi Finger Mode：オンにするとマルチフィンガーが許可され、オフにするとマルチフィンガーのプレビューが表示されます。
Backgroung：ホワイトボードの背景色とグリッドスタイルを設定します。
Threshold：太いペンと細いペン、ジェスチャー消しゴムの先を調整します。
Toolbar：ツールバーのレイアウトと利用可能なツールをカスタマイズします。
終了：メイン画面に戻ります。

< : 前ページへ
> : 次ページへ
01 / 01 : ページ番号
⊕ : 最後のページの後に新しいページを追加します。

日本語

②ツール

Pen : 手書き時のペンの色をカスタマイズします。
ストロークの太さと色を変更します。(ペン / 手書きサイズ / 手書き色)

Eraser : 指定したオブジェクトを消去します。

Select : 編集中のオブジェクトを選択し、移動やズームができます。

Shape : 図形を描きます。

Toolbox

Image: 画像の挿入と操作
Table: 表の作成
Ruler: ルーラー機能
MindMap: ビジュアル思考ツール
Browser: ホワイトボード内で Web ブラウザを開きます。
FourLineGrid: 4 線グリッドの背景を適用します。
Site: Web リンクまたはサイトプレビューを挿入および表示します。
StickyNotes: ブレインストーミングツール
PDF: PDF ファイルをインポートして注釈を付けます。
PeriodicTab.: 周期表を表示して簡単に参照できます。

Undo : キャンセル

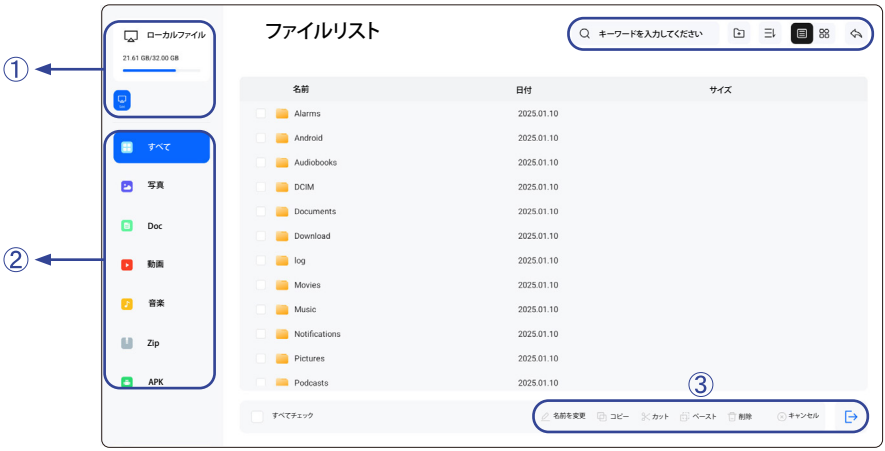
Redo: やり直す

Aerial View : ホワイトボード全体を縮小表示します。

③ Switch : 異なるホワイトボードを素早く切り替えます。

日本語

[ファイルマネージャー]



① 内部ストレージデバイスと USB ストレージに保存されているファイルを参照します。

② ファイル管理

1.「すべて」、「画像」、「Doc」、「動画」、「音楽」、「ZIP」、「APK」といった様々なファイル形式から選択できます。
2. 整理して表示するファイルを選択します。

補足

対応フォーマット :
- 写真 : JPG, JPEG, BMP, PNG, GIF
- Doc: PPT, Word, Excel, PDF (Open the file by using the WPS Office)
- 動画 : 3G2, 3GP, AVI, F4V, FLV, MP4, M2TS, M2V, M4V, MKV, MOV, MPEG, MTS, OGM, PMP, TP, TS, VOB, WEBM
- 音楽 : MP3, M4A, AAC, LPCM
- Zip
- Apk

③ ツール

: 名前変更
: コピー
: カット
: ペースト
: 削除
: キャンセル
: 出口
: 検索
: 作成
: ソート（日付、サイズ、名前）
: リスト
: グリッド
: 戻る

[iiSignage2]
当社のホームページからユーザーマニュアルをダウンロードしてご利用ください。
ホームページアドレス　URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/iiyama/

[iiControl]
本ソフトウェアは組織に便利で迅速な端末機器の統一管理ソリューションを提供し、効率的でリアルタイムな機器管理システムを構築し、キャンパス環境のデジタル化を支援し、キャンパス管理をより便利にします。

[iiBrowser]
ネットワークに接続し、ウェブを閲覧することができます。

[QuickSupport]
TeamViewer QuickSupport モバイルアプリにより、スマートフォンやタブレットでリモートサポートを素早く受けることができます。

[Chromium]
ネットワークに接続し、ウェブを閲覧できます。

[iiShare]
他のノート PC などとワイヤレスで画面を共有できるソフトウェアです。

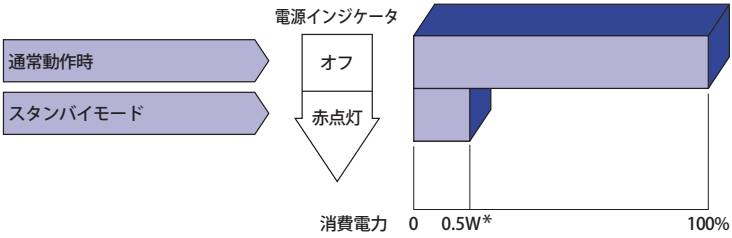
[Host]
Android 用の TeamViewer Host アプリは、無人の Android デバイスをリモートコントロールすることができます。 デバイスがアクティブに使用されていない場合でも接続が可能です。

スタンバイ機能

本製品のスタンバイ機能は、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は次のモードを備えており、モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ スタンバイモード

コンピュータからのビデオ信号が OFF 状態になるとスタンバイモード（消費電力 0.5W* 以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが赤色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



* USB 機器未接続時

日本語

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1.「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は 2 へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源スイッチが「ON」されていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。 □ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ □ スタンバイモード状態ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。
② 画面が乱れている	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑤ 画面が揺れる	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
⑥ 外部出力先の音が出ない	□ オーディオ機器 (コンピュータ等) の電源は入っていますか？ □ 音量調整が最小になっていませんか？ □ Mute(消音) になっていませんか？ □ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑦ 音が大きい／小さい	□ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

クリーニング

警告

■万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

■安全のため、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

注意

■モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

■モニタ (液晶パネル / キャビネット / コネクタ端子) や付属品を傷めないために、次の溶剤やクリーニングシート等は使用しないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤、過酸化物、アセトン、塩化メチレン、トルエン、アンモニア、次亜塩素酸ナトリウム水溶液 (塩素系漂白剤)、次亜塩素酸水、酸性 / アルカリ性の溶剤、ワックス、研磨剤、OA クリーナー、ガラスクリーナー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、化学ぞうきん、クリーニングペーパー等

補足

■液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■液晶パネルに水滴等をつけたまま放置しないでください。水滴等がついた場合はすぐに乾いた柔らかい布で拭きとってください。放置すると液晶パネルの変色や染みの原因になります。また、水分が内部に入ると故障の原因になります。

■キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●通常のお手入れ

柔らかい清潔な布でやさしく乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に浸してから固く絞った布で汚れを拭きとり、素早く乾いた柔らかい布で拭いてください。

●アルコール消毒について

アルコール消毒は、キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。ご使用の前後に、モニタから離れた場所で手指消毒をするなどしてご対応ください。

やむを得ずモニタをアルコール消毒する場合は、上記の警告・注意事項について、あらかじめご了承ください。また、頻繁なアルコール消毒は避けてください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

■ 本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。

■ 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期限は本体お買い上げ日より 3 年間です。
液晶パネルおよびバックライトの保証期限は 1 年間となります。
また、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、＜保証条件＞をご確認ください。

修理サービス

■「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。

■ 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。

お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後 5 年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に 5 年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の 5 年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。

■ 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

日本語

リサイクル／廃棄について

■ 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。

■ 製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

■ 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。

■ リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、iiyama サポートセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ
iiyama サポートセンター リサイクル受付
TEL 03-6636-4312

このマークが表示されている弊社製品は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。
詳細は弊社ホームページをご参照ください。
URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/iiyama/

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様：ProLite LH4364UHS-B1AGJ

サイズカテゴリ		43 型
液晶パネル	パネル方式	VA
	サイズ	対角：108cm（42.5 型)
	画素ピッチ	水平 (0.0817mm × 3) × 垂直 0.2451mm
	輝度	500cd/m^2（標準）
	コントラスト比	4000 : 1 (標準)
	視野角	水平：178°、垂直：178°（標準）
	応答速度	6.5ms（標準、グレー→グレー）
最大表示色		約 10.7 億色
走査周波数		水平：28.0 ～ 160.0kHz、垂直：57 ～ 62Hz
解像度		3840 × 2160、8.3 MegaPixels
サポートされている最大解像度		HDMI: 3840 × 2160 60Hz
入力映像信号		HDMI、USB-C 2.0（DisplayPort 1.2）
LAN		RJ45
シリアルポート		RS-232C 入出力 ø 2.5mm サブミニジャック
IR 拡張コネクタ		IR 入出力
USB 規格		USB2.0（DC5V、500mA）（USB メディアプレーヤー）× 2 USB-C 2.0（5V、3A）（DisplayPort 1.4 ALT モード）× 1
USB 内蔵ポートコネクタ形状		1 Upstream : Type C 2 Downstream : Type A
ヘッドホンコネクタ *1		ø 3.5mm ミニジャック（ステレオ）
スピーカー		10W × 2（ステレオスピーカー）
RAM		4GB DDR4
ROM		32GB eMMC
WIFI		2.4-2.5 GHz / 5.15-5.825 GHz / 802.11a/b/g/n/ac
最大表示範囲		水平：941.18mm　垂直：529.42mm
入力電源		100-240VAC、50/60Hz、2.1A
消費電力 *2		98W（標準）、 スタンバイモード：最大 0.5W、オフモード：最大 0.3W
外形寸法 / 重量		973.0（幅）× 560.5（高）× 70.0mm（奥行）, 8.0kg
環境条件	動作時： 保管時： 	温度　0 ～ 40C° 湿度　20 ～ 80%（結露なきこと） 温度　-20 ～ 60C ° 湿度　10 ～ 90%（結露なきこと）
適合規格		TÜV, PSE

補足
*1 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。
*2 USB 機器未接続時。

日本語

一般仕様：ProLite LH5564UHS-B1AGJ

サイズカテゴリ		55 型
液晶パネル	パネル方式	VA
	サイズ	対角：139cm（54.6 型）
	画素ピッチ	水平 (0.0817mm × 3) × 垂直 0.2451mm
	輝度	500cd/m^2（標準）
	コントラスト比	5000 : 1 (標準)
	視野角	水平：178°、垂直：178°（標準）
	応答速度	6.5ms（標準、グレー→グレー）
最大表示色		約 10.7 億色
走査周波数		水平：28.0 ～ 160.0kHz、垂直：57 ～ 62Hz
解像度		3840 × 2160、8.3 MegaPixels
サポートされている最大解像度		HDMI: 3840 × 2160 60Hz
入力映像信号		HDMI、USB-C 2.0（DisplayPort 1.2）
LAN		RJ45
シリアルポート		RS-232C 入出力 ø 2.5mm サブミニジャック
IR 拡張コネクタ		IR 入出力
USB 規格		USB2.0（DC5V、500mA）（USB メディアプレーヤー）× 2 USB-C 2.0（5V、3A）（DisplayPort 1.4 ALT モード）× 1
USB 内蔵ポートコネクタ形状		1 Upstream : Type C 2 Downstream : Type A
ヘッドホンコネクタ *1		ø 3.5mm ミニジャック（ステレオ）
スピーカー		10W × 2（ステレオスピーカー）
RAM		4GB DDR4
ROM		32GB eMMC
WIFI		2.4-2.5 GHz / 5.15-5.825 GHz / 802.11a/b/g/n/ac
最大表示範囲		水平：1209.6mm　垂直：680.4mm
入力電源		100-240VAC、50/60Hz、2.7A
消費電力 *2		135W（標準）、 スタンバイモード：最大 0.5W、オフモード：最大 0.3W
外形寸法 / 重量		1238.5（幅）× 709.0（高）× 70.0mm（奥行）, 13.0kg
環境条件	動作時： 保管時：	温度 0 ～ 40C° 湿度 20 ～ 80%（結露なきこと） 温度 -20 ～ 60C ° 湿度 10 ～ 90%（結露なきこと）
適合規格		TÜV, PSE

補足
*1 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。
*2 USB 機器未接続時。

日本語

一般仕様：ProLite LH6564UHS-B1AGJ

サイズカテゴリ		65 型
液晶パネル	パネル方式	VA
	サイズ	対角：164cm（64.5 型）
	画素ピッチ	水平 (0.0817mm × 3) × 垂直 0.2451mm
	輝度	500cd/m^2（標準）
	コントラスト比	5000 : 1 (標準)
	視野角	水平：178°、垂直：178°（標準）
	応答時間	6.5ms（標準、グレー→グレー）
最大表示色		約 10.7 億色
走査周波数		水平：28.0 ～ 160.0kHz、垂直：57 ～ 62Hz
解像度		3840 × 2160、8.3 MegaPixels
サポートされている最大解像度		HDMI: 3840 × 2160 60Hz
入力映像信号		HDMI、USB-C 2.0（DisplayPort 1.2）
LAN		RJ45
シリアルポート		RS-232C 入出力 ø 2.5mm サブミニジャック
IR 拡張コネクタ		IR 入出力
USB 規格		USB2.0（DC5V、500mA）（USB メディアプレーヤー）× 2 USB-C 2.0（5V、3A）（DisplayPort 1.4 ALT モード）× 1
USB 内蔵ポートコネクタ形状		1 Upstream : Type C 2 Downstream : Type A
ヘッドホンコネクタ *1		ø 3.5mm ミニジャック（ステレオ）
スピーカー		10W × 2（ステレオスピーカー）
RAM		4GB DDR4
ROM		32GB eMMC
WIFI		2.4-2.5 GHz / 5.15-5.825 GHz / 802.11a/b/g/n/ac
最大表示範囲		水平：1428.48mm　垂直：803.52mm
入力電源		100-240VAC、50/60Hz、3.2A
消費電力 *2		184W（標準）、 スタンバイモード：最大 0.5W、オフモード：最大 0.3W
外形寸法 / 重量		1456.5（幅）× 831.5（高）× 69.0mm（奥行）, 17.7kg
環境条件	動作時：	温度　0 ～ 40C° 湿度　20 ～ 80%（結露なきこと）
	保管時：	温度　-20 ～ 60C ° 湿度　10 ～ 90%（結露なきこと）
適合規格		TÜV, PSE

補足
*1 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。
*2 USB 機器未接続時。

日本語

一般仕様 : ProLite LH7564UHS-B1AGJ

サイズカテゴリ		75 型
液晶パネル	パネル方式	VA
	サイズ	対角：189.5cm（74.5 型）
	画素ピッチ	水平 (0.0817mm × 3) × 垂直 0.2451mm
	輝度	500cd/m^2（標準）
	コントラスト比	5000 : 1 (標準)
	視野角	水平：178°、垂直：178°（標準）
	応答速度	6.5ms（標準、グレー→グレー）
最大表示色		約 10.7 億色
走査周波数		水平：28.0 ～ 160.0kHz、垂直：57 ～ 62Hz
解像度		3840 × 2160、8.3 MegaPixels
サポートされている最大解像度		HDMI: 3840 × 2160 60Hz
入力映像信号		HDMI、USB-C 2.0（DisplayPort 1.2）
LAN		RJ45
シリアルポート		RS-232C 入出力 ø 2.5mm サブミニジャック
IR 拡張コネクタ		IR 入出力
USB 規格		USB2.0（DC5V、500mA）（USB メディアプレーヤー）× 2 USB-C 2.0（5V、3A）（DisplayPort 1.4 ALT モード）× 1
USB 内蔵ポートコネクタ形状		1 Upstream : Type C 2 Downstream : Type A
ヘッドホンコネクタ *1		ø 3.5mm ミニジャック（ステレオ）
スピーカー		10W × 2（ステレオスピーカー）
RAM		4GB DDR4
ROM		32GB eMMC
WIFI		2.4-2.5 GHz / 5.15-5.825 GHz / 802.11a/b/g/n/ac
最大表示範囲		水平：1650.24mm　垂直：928.26mm
入力電源		100-240VAC、50/60Hz、4.3A
消費電力 *2		219W（標準）、 スタンバイモード：最大 0.5W、オフモード：最大 0.3W
外形寸法 / 重量		1679.0（幅）× 957.0（高）× 69.0mm（奥行）, 27.7kg
環境条件	動作時： 保管時：	温度 0 ～ 40C° 湿度 20 ～ 80%（結露なきこと） 温度 -20 ～ 60C ° 湿度 10 ～ 90%（結露なきこと）
適合規格		TÜV, PSE

補足
*1 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。
*2 USB 機器未接続時。

日本語

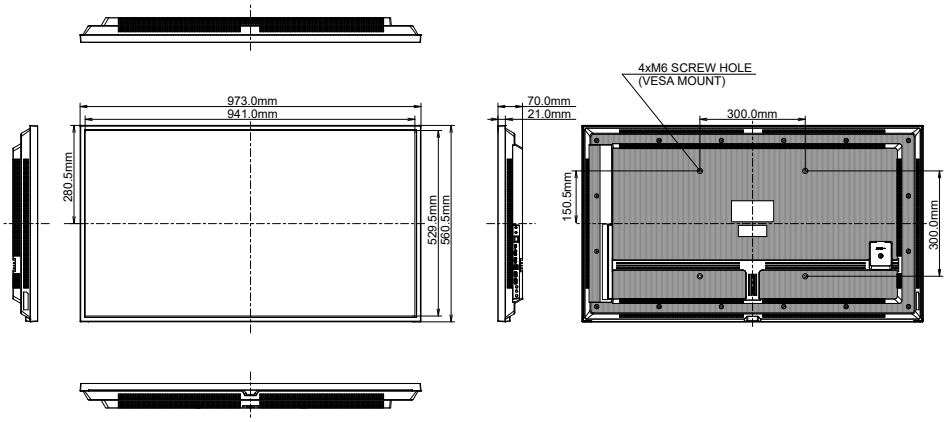
一般仕様 : ProLite LE9864UHS-B1AGJ

サイズカテゴリ		98 型
液晶パネル	パネル方式	VA
	サイズ	対角：247.7cm（97.5 型）
	画素ピッチ	水平 (0.0817mm × 3) × 垂直 0.2451mm
	輝度	500cd/m^2（標準）
	コントラスト比	5000 : 1 (標準)
	視野角	水平：178°、垂直：178°（標準）
	応答速度	6.5ms（標準、グレー→グレー）
最大表示色		約 10.7 億色
走査周波数		水平：28.0 ～ 160.0kHz、垂直：57 ～ 62Hz
解像度		3840 × 2160、8.3 MegaPixels
サポートされている最大解像度		HDMI: 3840 × 2160 60Hz
入力映像信号		HDMI、USB-C 2.0（DisplayPort 1.2）
LAN		RJ45
シリアルポート		RS-232C 入出力 ø 2.5mm サブミニジャック
IR 拡張コネクタ		IR 入出力
USB コネクタ		USB2.0（DC5V、500mA）（USB メディアプレーヤー）× 2 USB-C 2.0（5V、3A）（DisplayPort 1.4 ALT モード）× 1
USB ポート数 コネクタ形状		1 Upstream : Type C 2 Downstream : Type A
ヘッドホンコネクタ *1		ø 3.5mm ミニジャック（ステレオ）
スピーカー		10W × 2（ステレオスピーカー）
RAM		4GB DDR4
ROM		32GB eMMC
WIFI		2.4-2.5 GHz / 5.15-5.825 GHz / 802.11a/b/g/n/ac
最大表示範囲		水平：2158.85mm ×垂直：1214.35mm
入力電源		100-240VAC、50/60Hz、5.9A
消費電力 *2		388W（標準）、スタンバイモード：最大 0.5W、オフモード：最大 0.3W
外形寸法 / 重量		2203.0（幅）× 1258.0（高）× 110.5mm（奥行）, 61.0kg
環境条件	動作時： 保管時：	温度 0 ～ 40C° 湿度 20 ～ 80%（結露なきこと） 温度 -20 ～ 60C ° 湿度 10 ～ 90%（結露なきこと）
適合規格		TÜV, PSE

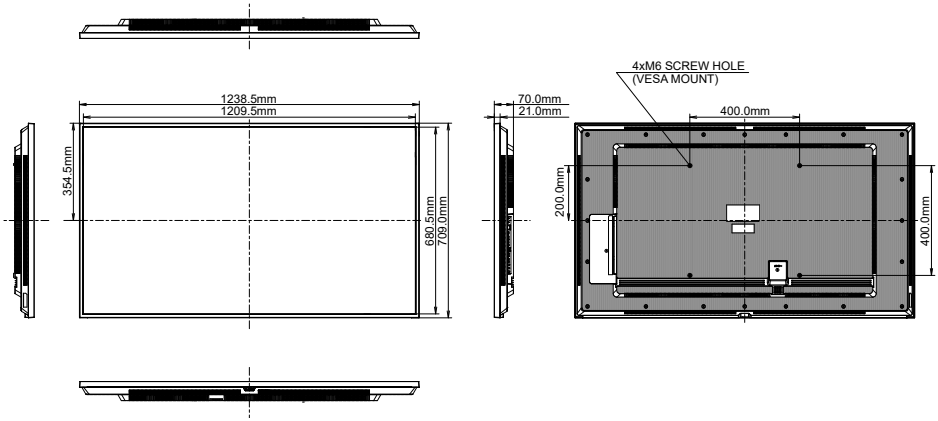
補足
*1 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。
*2 USB 機器未接続時。

日本語

外形寸法図：ProLite LH4364UHS

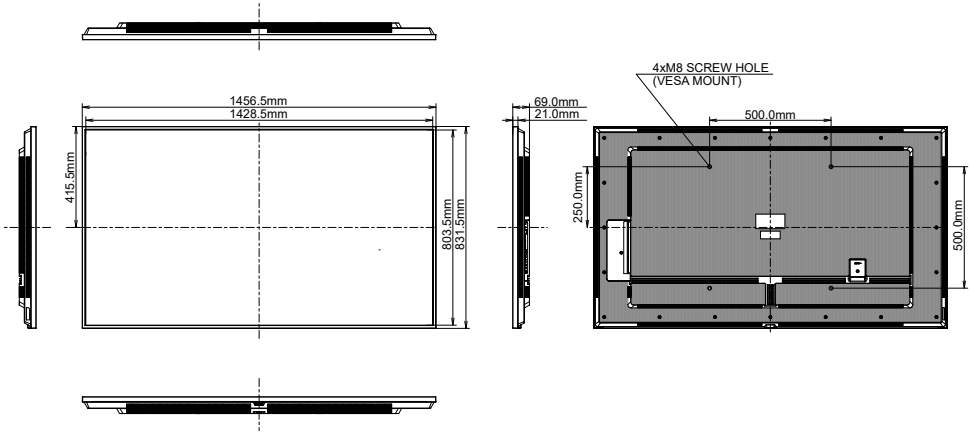


外形寸法図：ProLite LH5564UHS

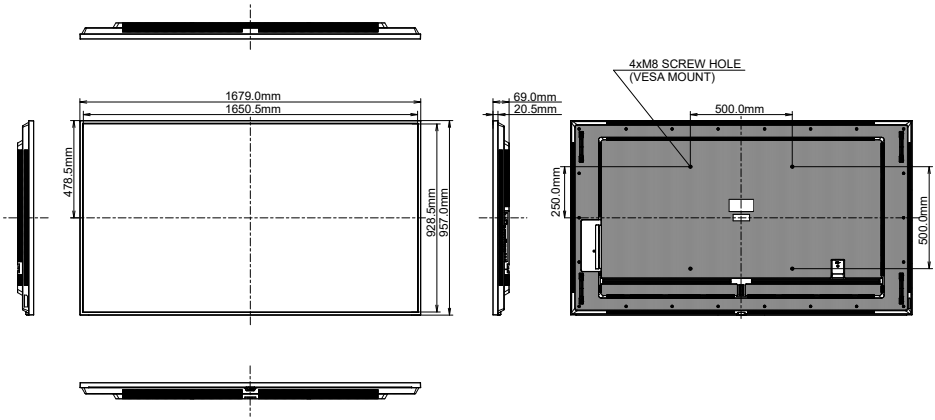


日本語

外形寸法図：ProLite LH6564UHS



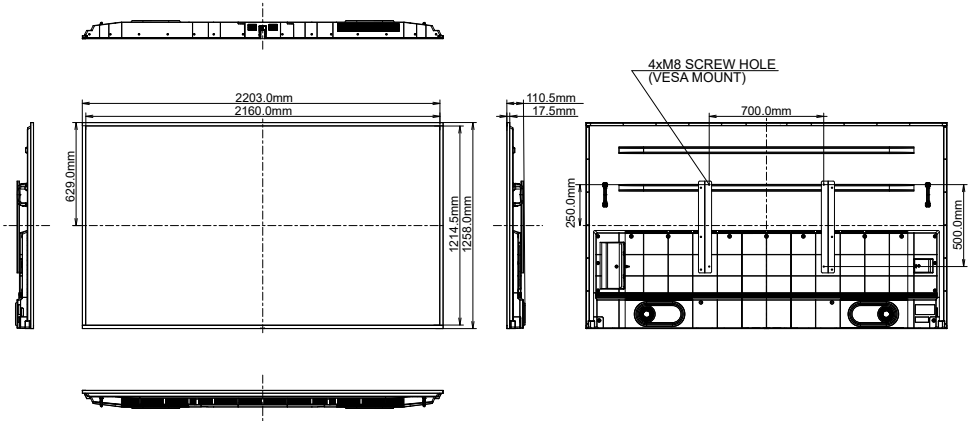
外形寸法図：ProLite LH7564UHS



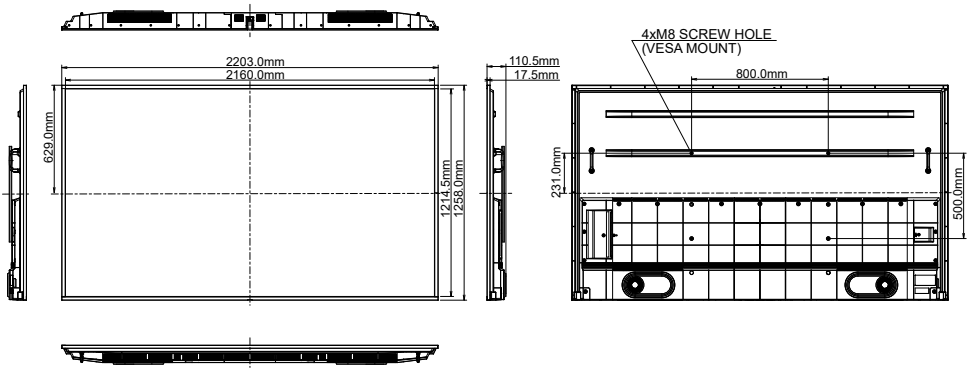
日本語

外形寸法図：ProLite LE9864UHS

• ブラケット装着



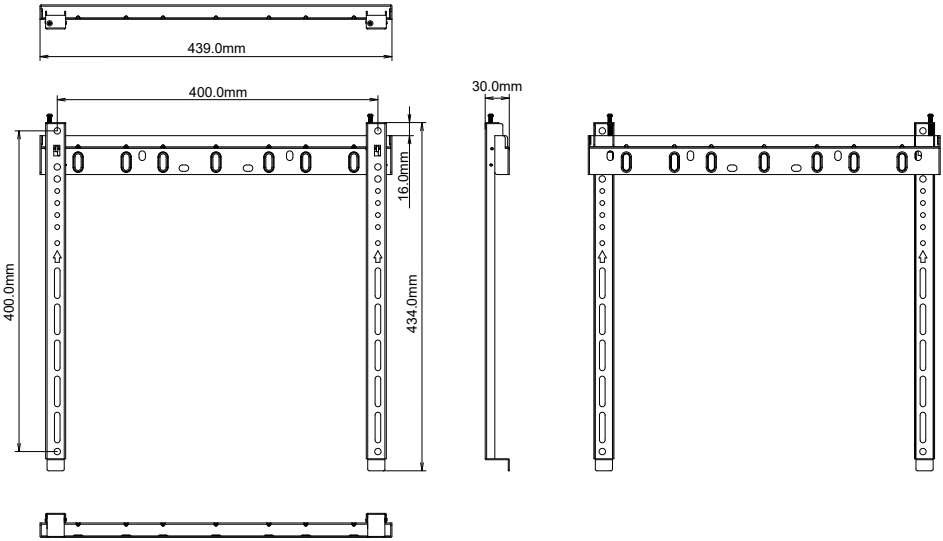
• ブラケット未装着



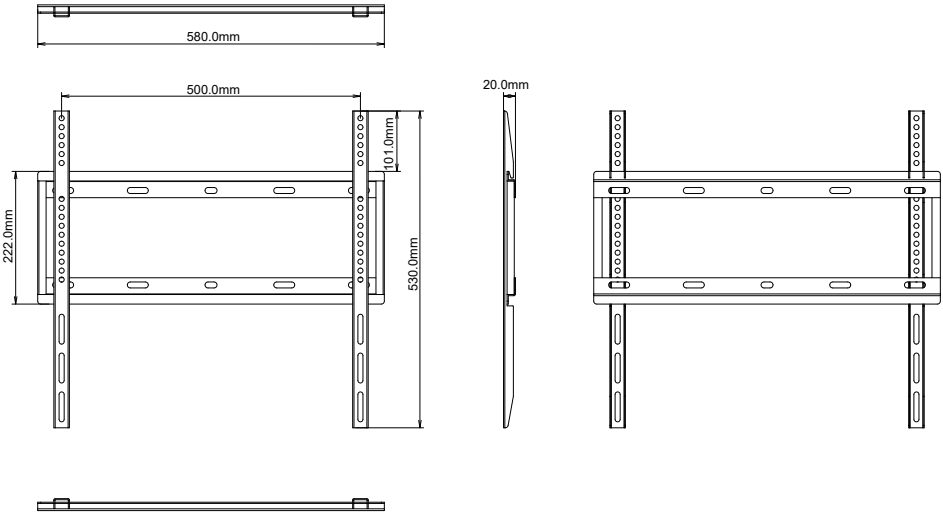
日本語

外形寸法図：壁掛けキット

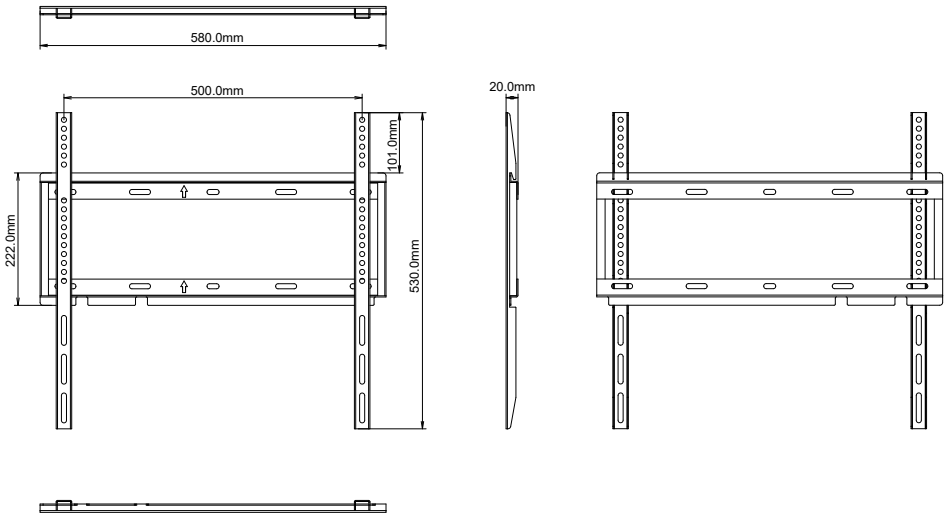
- **ProLite LH4364UHS / ProLite LH5564UHS**



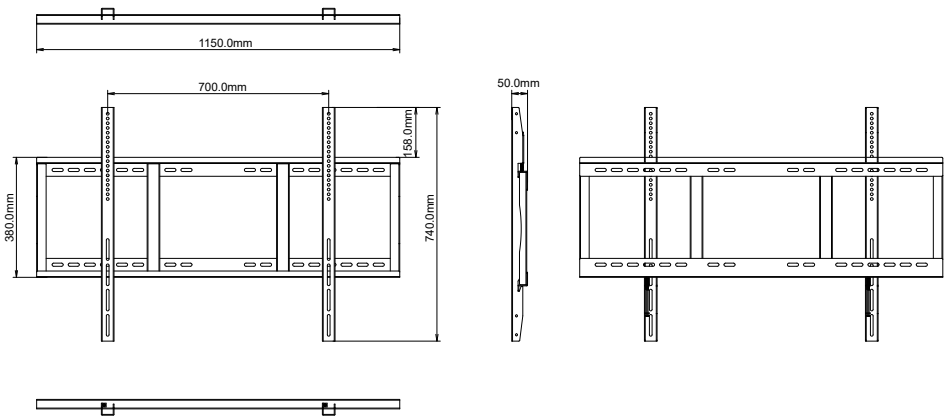
- **ProLite LH6564UHS**



• ProLite LH7564UHS



• ProLite LE9864UHS



日本語

対応信号タイミング

タイミング			fH(kHz)	fV(Hz)	Dot clock (MHz)	HDMI1	HDMI2	Type-C
VESA	VGA 640x480		31.5	60.0	25.175	○	○	○
	SVGA 800x600		37.9	60.0	40.000	○	○	○
	XGA 1024x768		48.4	60.0	65.000	○	○	○
	QVGA 1280x960		64.0	60.0	108.000	○	○	○
	SXGA 1280x1024		64.0	60.0	108.000	○	○	○
	WXGA 1366x768		47.7	60.0	85.500	○	○	○
	CVT 1440x900		55.9	60.0	106.500	○	○	○
	UXGA 1680x1050		65.3	60.0	146.250	○	○	○
	FHD 1920x1080		67.5	60.0	148.500	○	○	○
	2048x1152		70.9	60.0	156.750	○	○	○
	2560x1080		66.0	60.0	198.000	○	○	○
	2560x1440		88.8	60.0	241.700	○	○	○
	2560x1600		98.7	60.0	268.500	○	○	○
	3200x1800		111.1	60.0	391.140	○	○	○
	4K 3840x2160		67.5	30.0	297.000	○	○	○
			135.0	60.0	594.000	○	○	○
IBM	720x400		31.5	70.0	28.320	○	○	○
SD	480i	60Hz	15.7	60.0	27.000	○	○	
	576i	50Hz	15.6	50.0	13.500	○	○	
	480p	60Hz	31.5	60.0	27.000	○	○	○
	576p	50Hz	31.3	50.0	27.000	○	○	○
HD	720p	50Hz	37.5	50.0	27.000	○	○	○
		60Hz	45.0	60.0	74.250	○	○	○
	1080i	50Hz	28.1	50.0	74.250	○	○	○
		60Hz	33.7	60.0	74.250	○	○	○
	1080p	50Hz	56.3	50.0	148.500	○	○	○
		60Hz	67.5	60.0	148.500	○	○	○

* ○はタイミングをサポートしています。

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理，利用いたします。
当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL https://www.mouse-jp.co.jp/store/privacy/privacy.aspx

株式会社マウスコンピューター

● 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応
TEL 03-6636-4312
FAX 03-6636-4341

特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support/jmos.aspx

サポートの最新情報 (連絡先等) は弊社ホームページに記載しています。
お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx

M392JJ21